SHARP®

取扱説明書

パーソナルコンピュータ

形 名

PC-FW70X
PC-FW50X

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

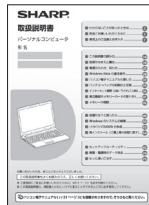
- ご使用前に「安全にお使いいただくために」（☞3 ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。

パソコン電子マニュアル（☞31 ページ）にも情報がありますので、そちらもご覧ください。

わからないことがあったときは

ステップ1 マニュアルで調べよう！

● パソコン電子マニュアル

● 取扱説明書（本書）

使い方がわからないときやトラブルの対処方法を知りたいときは、まずマニュアルを見てみましょう。

ステップ2 ホームページで調べよう！

● メビウスホームページ
http://www.sharp.co.jp/mebius/

● メビウスサポートページ
http://support.sharp.co.jp/mebius/

インターネットに接続している場合、シャープの関連ホームページに情報が載っていないか見てみましょう。

ステップ3 電話で問い合わせよう！

マニュアルやホームページで解決できなかったときは、お客様サポートセンターに電話で問い合わせてみましょう。

● パソコン電子マニュアル

● サポートのご案内

ソフトのお問い合わせ先は

ソフトメーカーにお問い合わせいただくソフト、シャープでお受けするソフトなど、お使いのアプリケーションソフトによって、お問い合わせ先が異なります。

● パソコン電子マニュアル

● サポートのご案内

安全にお使いいただくために

図記号について

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠**警告**	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠**注意**	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

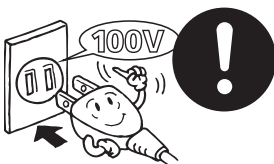
図記号の意味（図記号の一例です）

⚠ 記号は、気をつける必要があることを表しています。

🛇 記号は、してはいけないことを表しています。

❗ 記号は、しなければならないことを表しています。

⚠ 警告

電源はAC100Vのコンセントを使用する
それ以外の電源で使用すると、火災の原因になります。付属の電源コードは、AC100V用(日本仕様)です。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしない
また重い物を載せたり、引っ張ったり、ねじったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため火災・感電の原因になります。

タコ足配線をしない
タコ足配線は過熱し、火災の原因になります。

電源プラグの刃や刃の付近に、ほこりや金属物が付いているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

お客様による分解や修理・改造はしない
故障したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、修理を依頼してください。

万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常が発生したら、すぐに電源を切り、電源プラグを抜く
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。修理を依頼してください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。

風通しの悪い場所、ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所では使用しない
火災の原因になります。

⚠ 警告

バッテリーパックを取り扱う場合は、次のことを守る

バッテリーパックを指定する方法、環境以外で使用した場合は、発熱、発火、破裂することがあります。

- 指定の充電方法以外では充電しないでください。
- 分解や改造をしないでください。
- 火中に投下する、火気・暖房器具に近づける、加熱する、あるいは高温状態(直射日光下、車中など)で放置することはしないでください。
- 落下させる、ぶつける、先のとがったもので力を加える、強い圧力を加えるといった衝撃を与えないでください。衝撃を与えたバッテリーパックは、使用をやめてください。
- 金属小物(鍵、装飾品など)といっしょにカバンなどに入れたり、端子部分をショート(短絡)させたり、濡らしたりしないでください。
- バッテリー駆動時間が短くなった場合には、純正の新しいバッテリーパックと交換してください。

バッテリーパックから液が漏れて皮膚や衣服に付着したときは、ただちに水道水などのきれいな水で洗い流す

皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。また、漏れた液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、ただちに医師の治療を受けてください。放置すると液により目に障害を与える原因となります。

雷が鳴り始めたら、電源プラグを抜く

火災や感電の原因になります。

CD/DVD ドライブの光源部を見ない

故障や破損などでレーザー光線がドライブ外にもれた場合は、光源部を見ないでください。目にレーザー光線が照射されると、視力障害の原因になります。

車の運転中は、本機を使用しない

運転中に本機を操作すると、安全走行を損ない、交通事故の原因となります。また、運転中の音楽／ DVD ビデオなどの再生／視聴は、周囲の音が聞こえにくくなったり、映像や音声に気をとられるため非常に危険です。車の中で使用するときは、車を安全なところに止めてからお使いください。

混雑した場所(満員電車の中など)では、ワイヤレス LAN のアンテナを無効に設定する

電波により心臓ペースメーカーの動作に影響を与え、事故の原因となることがあります。

ワイヤレス LAN 機能を使うときは、心臓ペースメーカーの装着位置から 22cm 以上離す

電波により心臓ペースメーカーの動作に影響を与え、事故の原因となることがあります。

医療機関(病院など)の中や医療用電気機器の近くでは、ワイヤレス LAN のアンテナを無効に設定する

電波により医療用電気機器の動作に影響を与え、事故の原因となることがあります。

航空機内では、ワイヤレス LAN のアンテナを無効に設定する

電波により航空機の機器の動作に影響を与え、事故の原因となることがあります。

また、ワイヤレス LAN のアンテナを有効にすること、および航空機の離着陸時に本機を動作させることは、航空法違反となり処罰される場合があります。

⚠ 注意

本機を持ち運ぶ際は、しっかりと持ち、落とさないようにする
落とすと足をけがすることがあります。

電源コードなどのケーブル類は、足などを引っかけないように整理する
ケーブル類を足などに引っかけたりすると、本機が落下して変形・故障の原因になったり、転倒してけがの原因になることがあります。

電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない
発熱して火災の原因となることがあります。お買いあげの販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

移動するときは、電源プラグを抜き、接続されているケーブルを外す
コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

電源プラグは、確実に差し込む
電源プラグはコンセントに根本まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

小さな部品(カバー、キャップ、ネジ、バックアップ電池など)を取り外した場合は、幼児の手の届く所に置かない
小さな部品は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

本書に記載の場合を除いて、本機のカバーなどを取り外さない
内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因となることがあります。
取り外すときは、本書に記載の取り外し手順に従ってください。

AC アダプターおよび電源コードを取り扱う場合は、次のことを守る
発煙、発火、火災の原因になります。

- AC アダプターおよび電源コードは、必ず本機に付属しているものを使用してください。
- AC アダプターや電源コードが傷ついたり破損しているなどの異常がある場合は、絶対に使用しないでください。
- 落下させたり衝撃を与えないでください。
- つけ根部分を無理に曲げないでください。
- 重いものを載せないでください。
- 布などでくるまないでください。
- 保温性のある場所(温風ファンの前やホームこたつ付近など)で使わないでください。
- AC アダプターにコードを巻きつけないでください。
- コードを結んだり、束ねたりしないでください。

本機の開口部(通風孔やカードスロット)などから本機内部に異物(金属片、液体、燃えやすいものなど)を入れない
火災・感電の原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

通風孔に付着したほこりやゴミをこまめに取り除く
通風孔にほこりをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

梱包で使用しているビニール袋は幼児の手の届く所に置かない
頭からかぶって鼻や口をふさぐと、窒息事故の原因となることがあります。

ぬれた手で使用したり、まわりに水など液体の入った容器を置かない
中に水が入ると、火災・感電の原因となることがあります。

本機を長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

⚠ 注意

本機をぐらついた台の上や不安定な場所に置かない
落ちたりして、けがの原因となることがあります。

密閉した箱に入れたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけたりしない
通風孔をふさぐと、熱がこもり、火災の原因になることがあります。

健康のために、次のことを守る

- 連続して使用する場合は、1 時間ごとに 10 分〜 15 分の休憩を取り、目を休ませてください。
- 新聞が楽に読める程度の明るさの場所で使用してください。
（操作場所の明るさの目安：500 ルクス）
- 明暗の差の大きい所では使用しないでください。
- 日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。
- 本機を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、すぐに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛み等が続く場合は、医師の診察を受けてください。
- ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす方がおられます。このような経験のある方は、本機を使用される前に必ず医師と相談してください。また本機を使用しているときにこのような症状が起きたときは、すぐに使用を中止して医師の診察を受けてください。

硬いものでこすったり、たたいたりしない
破損してけがの原因になることがあります。

長時間にわたり本機底面をひざの上などに直接触れて使用しない
低温やけどをおこす恐れがあります。また、通風孔およびその周辺は放熱のため熱くなることがありますので、持ち運び時などにはご注意ください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くと聴力に悪い影響を与える恐れがあります。呼びかけられても返事ができるくらいの音量で使いましょう。

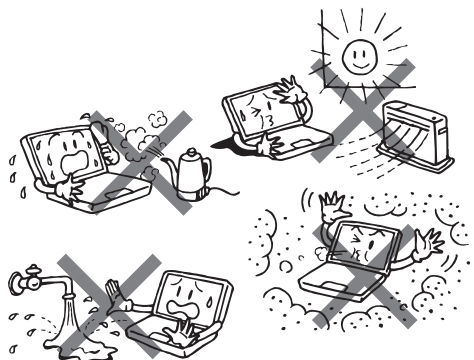
ヘッドホンをしたまま電源を入れたり切ったりしない
刺激音により聴力に悪い影響を与える恐れがあります。

使用上のご注意とお手入れ

設置・保管するときのご注意

本機を次のようなところには設置・保管しないでください。

変色・変形・故障の原因になります。

- **直射日光の当たるところや暖房器具の近く**
- **温度が非常に高いところや低いところ**
- **湿度が高いところ**
- **ほこりの多いところ**
- **水などの液体がかかるところ**
- **振動や衝撃などを受けるところ**
- **不安定なところ**

本機を立てて置かないでください。

バランスが崩れて倒れると変形・故障の原因になります。

お使いになるときのご注意

本機の上に重い物を載せたり、押さえ付けたりしないでください。

破損・故障の原因になります。

本機を強くたたいたり、落としたり、裏向けたりして衝撃を与えないでください。

本体およびハードディスクの故障の原因になります。

バッテリーパック交換時など、裏向ける必要がある場合は、衝撃を与えないよう静かに裏向けてください。

ディスプレイは傷が付きやすいので、先のとがったもの(シャープペンシル、ボールペンなど)でディスプレイ表面をたたいたり、ひっかいたりしないでください。

ハードディスクが故障したり、データが消失した場合に備えて、重要なデータは定期的に書き込み可能な CD や DVD、または外付けハードディスクなどに保存しておいてください。

AC アダプターを温度の影響を受けやすい木製品や家具などの上に置かないでください。

本機を使用中、AC アダプターの温度が高くなる場合があり(故障ではありません)、置いた部分が変色・変形することがあります。

本機を寒い場所から暖かい場所に移動させたときや、暖房などで室温が急に上がったときなど、本機の表面や内部に結露(つゆつき)が起こる場合があります。結露が起きた場合は、結露がなくなるまで電源を入れないでください。

故障の原因となります。(結露を防ぐためには、徐々に室温を上げてください。)

次の機器をパソコンから取り外すときは、必ず取り外す前に「ハードウェアの安全な取り外し」(☞41 ページ)または「メモリーカードの取り出し」(☞42 ページ)の操作をしてください。手順どおり操作しないで取り外した場合、データが壊れたり、パソコンまたは接続している機器の故障の原因となります。

- メモリーカード、PC カード
- ハードディスクドライブや USB メモリーなど、データを格納する周辺機器(USB 機器および IEEE1394 機器)

CD/DVD ドライブ使用時のご注意

- **CD/DVD にデータ書き込み中、CD/DVD 再生中は、イジェクトボタンを押さないでください。データの書き込みに失敗したり、再生が途中で停止するなど、誤動作の原因となります。**
- **レンズに手を触れないでください。レンズが汚れると、故障の原因になります。**
- **次のディスクは使用しないでください。**
  ディスクが取り出せなくなったり、CD/DVD ドライブの故障の原因になります。
  ・特殊形状(ハート形や八角形など)のディスク
  ・シールやテープが貼ってあるディスク
  ・シールやテープのはがしたあとがあるディスク
  ・ひび割れしていたり、変形・破損しているディスク

持ち運ぶときのご注意

本機を持ち運ぶときは、次の注意を守ってください。

データが失われたり、ハードディスクの故障の原因になります。

- **電源を切る**
- **強い振動や衝撃を与えない**
- **CD などのディスクおよび PC カードなどのカード類を本機から取り出す**
- **本機に接続されている周辺機器やケーブル類はすべて取り外す**
- **ディスプレイを持たない**

ワイヤレス LAN に関するご注意

電波法に基づく適合証明について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって、本機を使用するときに、無線局の免許は必要ありません。

ただし、下記の行為を行うと、法律により罰せられることがあります。

- 本機内蔵のワイヤレス LAN ユニットを分解、改造する
- 本機内蔵のワイヤレス LAN ユニットに貼ってある証明ラベルをはがす

使用上のご注意

- 本機に内蔵されているワイヤレス LAN は、日本国内での使用を目的に設計されています。海外では使用しないでください。

電波干渉に関するご注意

2.4DS/OF4

この表示のある無線機器は 2.4GHz を使用しています。変調方式として DS-SS 変調方式および OFDM 変調方式を採用し、与干渉距離は 40m です。

本機の使用する 2. 4GHz の周波数帯では電子レンジ等の産業･科学･医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. この機器の使用前に、近くに「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止してください。
3. その他、何かお困りのことが起きたときは、「お客様サポートセンター」へお問い合わせください。
   (「お客様サポートセンター」については、サポートのご案内 を参照してください。)

電波障害に関するご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときには、次の点にご注意ください。

- 本機をラジオ、テレビジョン受信機から十分離してご使用ください。
- 本機とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
- 使用されるケーブルは指定のものを使用してください。

TFT カラー液晶パネルについて

TFT カラー液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

著作権等に関するご注意

本機を利用して各種CD・DVD、インターネットホームページ上の画像等著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を越えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。
また、本機種において写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控え頂くことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。

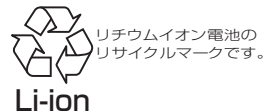
コピーコントロール CD に関するご注意

本機は、CD規格(コンパクトディスクデジタルオーディオ)に準拠していない「コピーコントロールCD」などについて動作や音質を保証できません。通常のCDの再生時には支障がなく、上記の特殊なディスクのみに支障がある場合には、ディスクやパッケージ、印刷物などの表示をよくお読みの上、詳細については、ディスクの発売元へお問い合わせ願います。

OS のサポートに関するご注意

- 本機では、プリインストールされているOS(日本語版)のみをサポートしています。
  Supported Operating System
  The model only supports the pre-installed Japanese language operating system; other operating systems are not supported.
- Windows Vista には、オンライン手続きで上位エディションにアップグレードできる「Windows Anytime Upgrade」が用意されていますが、シャープ株式会社では「Windows Anytime Upgrade」に関していかなる保証も責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

充電式電池のリサイクルご協力お願い

本機のバッテリーパック(別売のバッテリーパックを含む)にはリチウムイオン電池を使用しています。この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。電池の交換、およびご使用済み商品の廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。

- ご使用済みの電池は、「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています。」のステッカーを貼ったシャープ 商品取り扱いのお店へご持参ください。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。
  - ・端子部にテープを貼る。
  - ・外装カバーを剥がさない。
  - ・分解しない。

パソコンのリサイクルご協力お願い

使用済みパソコンを有益な資源として再利用するためリサイクルにご協力ください。

本機を廃棄される場合は、サポートのご案内 を参照してください。

有寿命部品について

本機の通常の使用において、使用環境(温湿度など)や使用頻度、経過時間等により、劣化/磨耗が進行し、寿命が著しく短くなる可能性のある部品があります。これを「有寿命部品」と呼びます。
本機には、下記の有寿命部品が含まれています。
ご使用状態によっては早期に部品交換(有料)が必要となる場合があります。

有寿命部品
キーボード、タッチパッド、ハードディスクドライブ、CD/DVD ドライブ、バックライト、AC アダプター、コネクター/ケーブル類
※部品によっては、ユニット単位の交換になる場合があります。

お手入れ

お手入れの前には、必ず電源を切っておいてください。

> **お手入れの際に、アルコール、ベンジン、シンナーなどの強い化学薬品は使わないでください。変形・変色の原因となります。**
> **また、パソコン本体には、絶対に水が入らないよう注意してください。故障の原因になります。**

キャビネット/タッチパッド

ほこりの出ない乾いたやわらかい布で拭きます。
汚れがひどいときは、水またはぬるま湯を布に含ませ、固く絞って拭き取ります。

液晶ディスプレイ

ほこりの出ない乾いたやわらかい布で軽く拭きます。
硬い布で拭いたり、強くこすったりすると液晶の表面に傷がつきますので注意してください。
また、化学ぞうきんや濡らした布は、液晶を傷める恐れがありますので使用しないでください。

通風孔

通風孔にほこりなどが付着すると、本体の換気を妨げるおそれがあります。掃除機などを使ってほこりを除去してください。

ワイヤレス LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意
（お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です！）

ワイヤレス LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等とワイヤレス LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

・通信内容を盗み見られる
　　悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
　　　　ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
　　　　メールの内容
　　等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

・不正に侵入される
　　悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
　　　　個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
　　　　特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
　　　　傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
　　　　コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
　　などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、ワイヤレス LAN カードやワイヤレス LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、ワイヤレス LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

ワイヤレス LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。
従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、ワイヤレス LAN カードやワイヤレス LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ずワイヤレス LAN 機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。
なお、ワイヤレス LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。
セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、お客様サポートセンターまでお問い合わせください。（サポートのご案内 を参照してください）

※他社製のワイヤレス LAN 機器をお使いの場合は、各製品のマニュアルを参照してください。
　また、設定などについては、ご使用の機器のサポート先にお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）の無線 LAN のセキュリティに関するガイドラインについてはこちらをご参照ください。
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/wirelessLAN2/index.html

パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきております。これらのパソコンの中のハードディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

従って、そのパソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところが、このハードディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般に

・データを「ごみ箱」に捨てる
・「削除」操作を行う
・「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
・ソフトで初期化（フォーマット）する
・再インストールして、工場出荷状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータは見えなくなっているという状態なのです。つまり、一見消去されたように見えますが、Windows などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理が出来なくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

従いまして、市販のデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用される恐れがあります。

パソコンユーザーが、廃棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、ユーザーの責任において消去することが非常に重要となります。このパソコンにはハードディスクの全データを消去する機能が備わっています。この機能を使うとデータが復元されにくくなります。ただし、特殊な機器の使用によりデータを復元される可能性があります。より確実に消去するには、専用ソフトウェアあるいはサービス（共に有償）を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

本件に関して詳細は弊社メビウスサポートページ

http://support.sharp.co.jp/mebius/

をご覧になられるか、あるいは下記の窓口にお問い合わせくださるようお願い申し上げます。

●お客様サポートセンター
（ サポートのご案内 を参照してください）
●パソコンを購入された販売店

また、本機の廃棄方法については、 サポートのご案内 を参照してください。

なお、ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。

文字の表示と印刷について

Windows Vista では、最新の JIS 漢字「JIS X 0213:2004」に対応した日本語フォントが採用されており、使用できる文字が増え、一部の文字において字体が変わりました。
このため、次の場合、新しく増えた文字が表示(印刷)されなかったり、一部の文字において字体が異なったりすることがあります。

- Windows Vista で作成した文書を Windows XP などで表示したとき
- Windows Vista で作成した文書を「JIS X 0213:2004」非対応のプリンター搭載フォントを使用して印刷したとき
- Windows XP などで作成した文書を Windows Vista で表示したとき

詳しくは、下記のマイクロソフト社のホームページをご覧ください。
http://www.microsoft.com/japan/windowsvista/jp_font/default.mspx (2008 年 2 月現在)

お客様へのお願い

本パーソナル・コンピュータ「メビウスシリーズ」をご使用いただく前に、下記の契約書をよくお読みください。

このたびは、弊社パーソナル・コンピュータをお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
お客様が購入された本パーソナル・コンピュータ「メビウスシリーズ」(以下「本製品」と記載します)にプリインストールまたは 添付されていますシャープオリジナルソフトウェア(以下「本ソフトウェア」と記載します)をご使用いただく前に下記の契約書をよくお読みください。 本契約書にご同意いただけない場合には、本製品を未使用·本ソフトウェアの記録媒体のパッケージを未開封のまま本製品をお求めになった販売店にご返却ください。
お客様が本製品を使用された場合、または本ソフトウェアの記録媒体のパッケージを開封された場合には、下記契約書のすべてにご同意いただいたものといたします。本契約書にご同意いただいた方のみ、本ソフトウェアをご使用いただくことができます。

ソフトウェア使用許諾契約書

シャープ株式会社(以下 「弊社」と記載します)は、お客様(法人または個人のいずれであるかを問いません)に、本製品にプリインストールまたは添付されている「本ソフトウェア」を使用する権利を下記条項に基づき許諾します。お客様が本製品を使用された場合、または本ソフトウェアのパッケージを開封された場合には、下記契約書のすべてにご同意いただいたものといたします。

1. 著作権
(1) お客様は、本契約の条項にしたがって本ソフトウェアを日本国内で使用する、非独占的な権利を本契約に基づき取得します。
(2) お客様は、本ソフトウェアを、本製品のみでご使用いただけます。
(3) お客様は、本ソフトウェアのバックアップまたは保存の目的においてのみ本ソフトウェアの全部または一部を一部数に限り複製することができます。ただし、本ソフトウェアの複製物を記録した媒体(フロッピーディスク、CD-ROM 等)が本製品に添付されている場合には、お客様は、本ソフトウェアを複製することはできません。この場合、お客様は本ソフトウェアのバックアップまたは保存の目的で、本製品に添付された当該複製物を取り扱うものとします。

2. 権利の許諾
(1) 本ソフトウェアに関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属 又は 第三者から正当なライセンスを得たものであり、本ソフトウェアは日本の著作権法その他関連して適用される法律等によって保護されています。したがってお客様は、本ソフトウェアを他の著作物と同様に扱わなければなりません。
(2) 本ソフトウェアとともにお客様に提供されるマニュアルおよび取扱説明書等の関連資料(以下「関連資料」と記載します)の著作権は、弊社に帰属し、これら関連資料は日本の著作権法その他関連して適用される法律等によって保護されています。お客様はこれら関連資料を複製することはできません。

3. 制限事項
(1) お客様は、本ソフトウェアのリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。
(2) お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合を除いて、本ソフトウェアの使用、全部または一部を複製、改変等をすることはできません。
(3) お客様は、本ソフトウェアおよび関連資料に付されている著作権表示およびその他の権利表示を除去することはできません。上記(2)に基づき本ソフトウェアを複製する場合には、本ソフトウェアに付されている著作権表示およびその他の権利表示も同時に複製するものとします。
(4) お客様は、本ソフトウェアを第三者に使用許諾、貸与またはリースすることはできません。

4. 本ソフトウェアの譲渡
お客様は、下記のすべての条件を満たした場合に限り、本ソフトウェアの本契約に基づく使用権を第三者に譲渡することができます。
i) お客様が本契約書、本ソフトウェアを含む本製品、本ソフトウェアのすべての複製物およびその記録媒体、ならびに関連資料を含む本製品のすべてを譲渡し、これらを一切保持しないこと。
ii) 譲受人が本契約に同意していること。

5. 限定保証

（1） 弊社は、本ソフトウェアに関していかなる保証も行いません。したがって、本ソフトウェアに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。

（2） 上記（1）にかかわらず、お客様が必要事項を記入した 別添のユーザー登録／愛用者カードまたはオンラインユーザー登録を弊社まで返送された場合において、最初にご購入されたお客様が本製品をご購入された後 1 年以内に、弊社が本ソフトウェアの誤り（バグ）を修正した場合には、弊社はお客様に対して、修正されたソフトウェア、修正のためのソフトウェア（以下、これらのソフトウェアを「修正ソフトウェア」と記載します）、またはこのような修正に関する情報を提供いたします。ただし、修正ソフトウェアまたはこのような修正に関する情報の提供の必要性、提供時期、提供方法等に関しては、すべて弊社の裁量により決定させていただきます。お客様に提供された修正ソフトウェアは本ソフトウェアとみなします。

（3） 本ソフトウェアの記録媒体に物理的欠陥（ただし、プログラムおよび／またはデータの読み出しが不可能な場合に限ります）があり、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合、最初のお客様が本製品を購入された日から 14 日以内に本製品の保証書を添えてお求めになった販売店に当該記録媒体を返却された場合には、弊社は無償で当該記録媒体を同等の記録媒体と交換するものとします。

本項の規定をもって本ソフトウェアの記録媒体に関する弊社の保証のすべてといたします。

6. 責任の制限

（1） 弊社は、いかなる場合も、お客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます）および第三者からお客様になされた損害賠償等の請求による損害について、一切責任を負いません。

（2） いかなる場合においても、本契約に基づく弊社の責任はお客様が実際にお支払いになった本製品の代金のうち本ソフトウェアの代金相当額をその上限とします。

7. 契約の期間

本契約は、お客様が本製品を使用されたとき、または 本ソフトウェアの記録媒体のパッケージを開封されたとき発効し、下記 8. により本契約が終了するまで有効であるものとします。

8. 契約の終了

（1） お客様は、書面により事前に弊社まで通知することにより、いつでも本契約を終了させることができます。

（2） 弊社は、お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、お客様に対し何らの通知・催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。

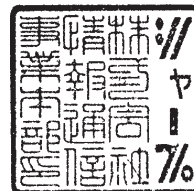
（3） 上記（2）の場合、弊社は、お客様によって被った損害をお客様に請求することができます。

（4） お客様は、本契約が終了したときは、直ちに本ソフトウェアおよびそのすべての複製物ならびに関連資料を破棄するものとします。

9. その他

（1） お客様は、いかなる方法および目的によっても、本ソフトウェアおよびその複製物を日本国外に輸出してはなりません。

（2） 本契約に関連または起因する紛争は、大阪地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

シャープ株式会社　情報通信事業本部
〒 639-1186
奈良県大和郡山市美濃庄町 492 番地

この説明書の読み方

使用している記号について

ご注意	パソコンや周辺機器の故障の原因になる注意事項を記載しています。
	参考情報や関連事項、操作上の制限事項などを記載しています。
☞	この説明書の参照ページや、参照する他の説明書を示します。

表記ルールについて

仕様一覧	別冊の説明書を示します。(左は「仕様一覧」の例です。)
【パソコン電子マニュアル】	画面で見る説明書を示します。(左は「パソコン電子マニュアル」の例です。)
↵	キーボードのキーを押す操作では、キーを枠で囲んでいます。また、あるキーを押しながら他のキーを押すときは、「+」でつないで表記しています。 例) **Fn** + **F7** (▲☼)
[ ]	画面に表示されるボタンなどは、[ ]で囲んで表記しています。 例) [OK]をクリックします。
「 」	メニュー項目や、画面やアイコンの名称などは、「 」で囲んで表記しています。 例) 「コントロールパネル」をクリックします。

画面例について

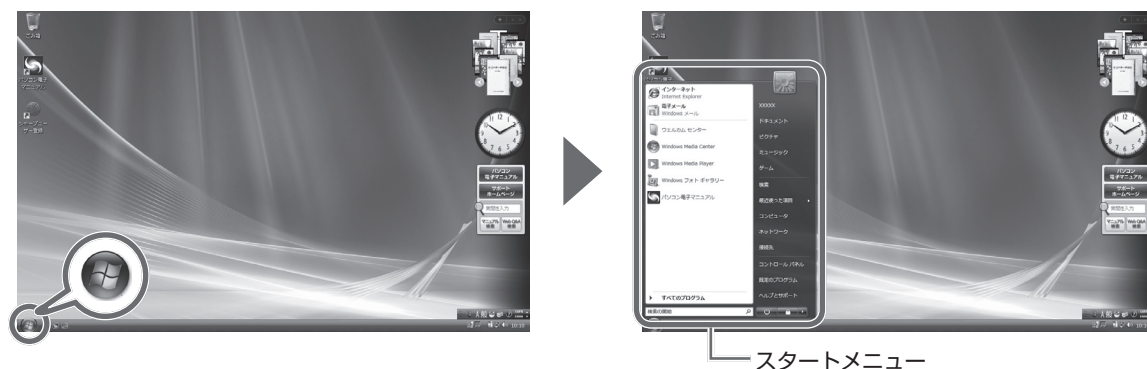
本書に記載している画面は一例です。画面の背景、画面デザイン、表示される項目名、アイコンなどの種類や位置などが実際の画面と異なる場合があります。また、操作状況やパソコンの状態によって表示が異なる項目などは「XXXXX」で表しています。

画面の背景

本書に記載している画面の背景には、Windows の壁紙を使用しています。
画面の背景は変更することができます。変更方法については**【パソコン電子マニュアル】**(☞31 ページ) の「**使い方を知りたい**」-「**パソコンの設定**」-「**画面表示**」を参照してください。

（スタート）について

画面左下の （スタート）をクリックすると、スタートメニューが表示されます。
スタートメニューは、パソコンの操作の入り口です。通常はここからプログラムを起動したり、ファイルやフォルダを開いたりします。また、パソコンの設定を調整するときや、パソコンの電源を切るときなどもこのスタートメニューを使用します。

スタートメニュー

商標、登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Aero、ReadyBoost は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- AMD、AMD Turion、AMD Sempron、Radeon ならびにその組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
- HyperTransport は、HyperTransport Technology Consortium の許諾商標です。
- IrSS ™、IrSimpleShot ™ は、Infrared Data Association の商標です。
- ShadowProtect Restore は、米国およびその他の国における StorageCraft Technology Corporation の商標です。
- MBRINST は、日本およびその他の国における株式会社 ネットジャパンの商標です。
- Memory stick、メモリースティック、メモリースティック PRO、メモリースティック デュオ、メモリースティック PRO デュオ、メモリースティック マイクロは、ソニー株式会社の商標です。
- xD-Picture Card は、富士フイルム株式会社の商標です。
- TRENDMICRO、ウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- アイフィルターは、デジタルアーツ株式会社の登録商標です。

その他、製品名などの固有名詞は各社の商標、または登録商標です。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

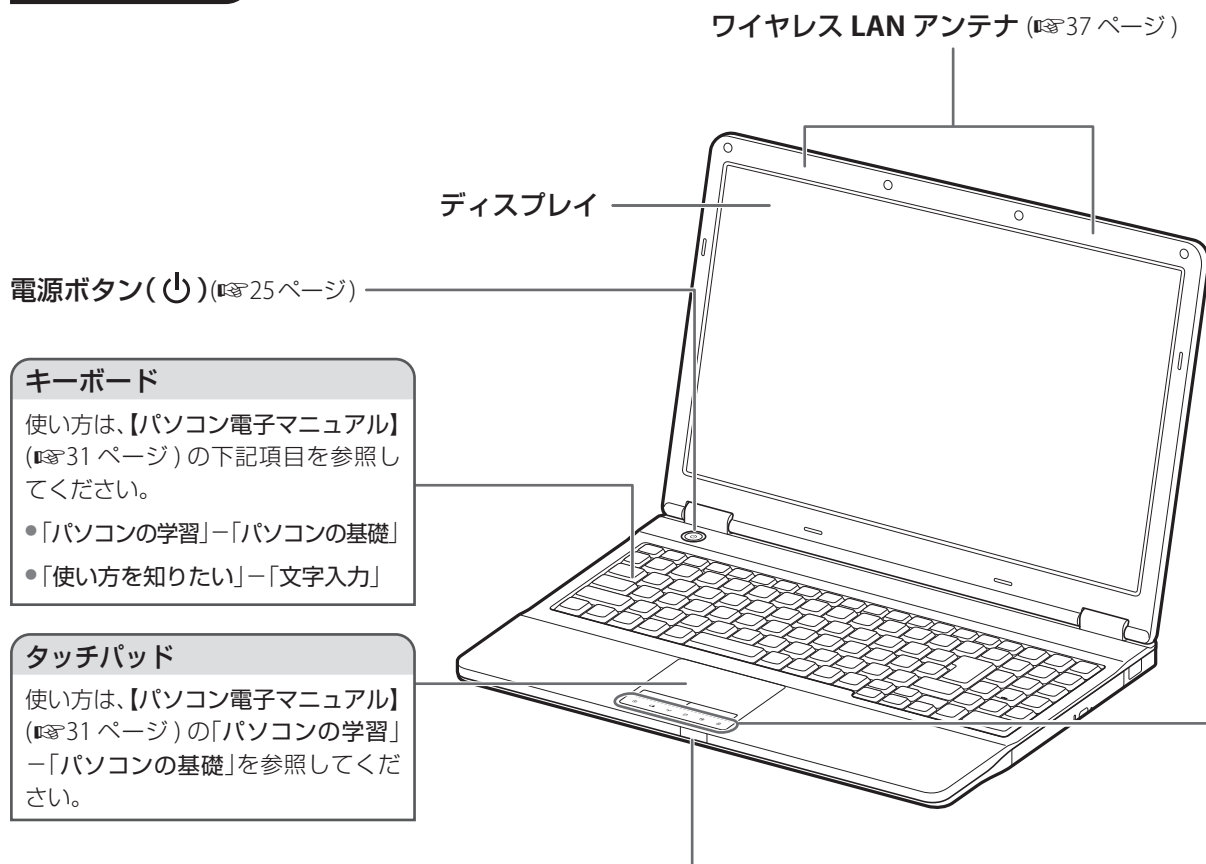
このパソコンは、クラス 1 レーザー機器を使用しています。

各部のなまえと働き

■前面

ワイヤレス LAN アンテナ (☞37 ページ)

ディスプレイ

電源ボタン(⏻)(☞25 ページ)

キーボード

使い方は、【パソコン電子マニュアル】(☞31 ページ) の下記項目を参照してください。

- 「パソコンの学習」－「パソコンの基礎」
- 「使い方を知りたい」－「文字入力」

タッチパッド

使い方は、【パソコン電子マニュアル】(☞31 ページ) の「パソコンの学習」－「パソコンの基礎」を参照してください。

IrSS 受光部

IrSS™（高速赤外線通信）に対応している携帯電話で撮影した画像を赤外線通信で受信し、パソコンに保存できます。

受信可能なデータ：JPEG 形式の画像ファイル

携帯電話の画像を受信する

パソコンの電源を入れて、デスクトップ(☞29 ページ)が表示されている状態で操作します。

1 **携帯電話の赤外線ポートを IrSS 受光部に向ける。**

2 **携帯電話から IrSS で画像を送信する。**

画像を受信すると、パソコンの画面に画像が表示され、マウスカーソルを動かすと画面から画像が消えます。受信した画像データは、「ピクチャ」フォルダに作成される撮影日ごとのフォルダに保存されます。

携帯電話の赤外線ポートの位置および送信方法については、携帯電話の説明書を参照してください。

IrSS に対応している携帯電話の機種については

- 下記のメビウスサポートページを参照してください。
  http://support.sharp.co.jp/mebius/

状態表示ランプ( )

電源／バッテリー／ワイヤレス LAN ／テンキーの状態や、ハードディスク／ CD/DVD ドライブへのアクセス状態などがわかります。

ご注意

- 、ランプが点灯中は、次のことはしないでください。データが失われたり、故障の原因になります。
  - ・電源を切る
  - ・パソコン本体を動かす

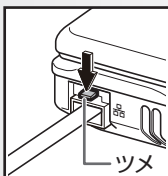
<table>
<tr><th></th><th>点灯状態</th><th colspan="2">パソコンの状態</th></tr>
<tr><td rowspan="3">電源ランプ</td><td>緑点灯</td><td colspan="2">電源が入っている (電源ボタンが青点灯)</td></tr>
<tr><td>緑点滅</td><td colspan="2">スリープ(電源ボタンが青点滅)</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td colspan="2">休止状態または電源が切れている</td></tr>
<tr><td rowspan="6">バッテリー状態ランプ</td><td>緑点灯</td><td rowspan="3">AC アダプター接続あり</td><td>バッテリーが満充電状態</td></tr>
<tr><td>オレンジ点灯</td><td>バッテリーを充電中</td></tr>
<tr><td>オレンジ点滅</td><td>バッテリーの充電が正常に終了しなかった
(☞ 24 ページ)</td></tr>
<tr><td>赤点滅</td><td rowspan="2">AC アダプター接続なし
(電源オン状態)</td><td>バッテリー残量が非常に少ない
(同時に警告音が鳴る)</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td>バッテリー残量がある</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td>AC アダプター接続なし
(電源オフ状態)</td><td>常に消灯状態</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ワイヤレス LAN 状態ランプ
(☞ 37 ページ)</td><td>緑点灯</td><td colspan="2">アンテナが有効になっている</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td colspan="2">アンテナが無効になっている</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ハードディスクランプ</td><td>緑点灯</td><td colspan="2">ハードディスクドライブにアクセスしている</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td colspan="2">ハードディスクドライブにアクセスしていない</td></tr>
<tr><td rowspan="2">CD/DVD ランプ</td><td>緑点灯</td><td colspan="2">CD/DVD ドライブにアクセスしている</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td colspan="2">CD/DVD ドライブにアクセスしていない</td></tr>
<tr><td rowspan="2">NumLock ランプ</td><td>緑点灯</td><td colspan="2">テンキーで数字と演算記号が入力できる
(数字キーロックオン状態)</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td colspan="2">テンキーがカーソルコントロールキーとして動作する (数字キーロックオフ状態)</td></tr>
</table>

■左側面

LAN ジャック(品)

市販の LAN ケーブルを接続します。(☞35 ページ)

ご注意

- LAN ジャックにモデムケーブルを差し込まないでください。誤って LAN ジャックにモデムケーブルを差し込むと、故障の原因になります。
- LAN ケーブルをパソコンから取り外すときは、必ず LAN ケーブルのツメを押しながら取り外してください。無理に引き抜くとツメが折れるので注意してください。

IEEE1394 コネクター (IEEE 1394)

IEEE1394 規格対応の機器を接続します。

IEEE1394 機器の取り外し

接続している IEEE1394 機器によっては「ハードウェアの安全な取り外し」(☞41 ページ)の操作が必要な場合があります。

通風孔(☞5 ページ)

USB コネクター (⭠)

USB 規格対応の機器を接続します。USB ケーブルの ⭠ マークを上向きにして接続してください。

USB 機器の取り外し

接続している USB 機器によっては「ハードウェアの安全な取り外し」(☞41 ページ)の操作が必要な場合があります。

ヘッドホン出力／オーディオ出力ジャック(🎧)(緑)

ライン入力端子(LINE IN)付きのオーディオ機器、アンプ付きスピーカー、ヘッドホンなどを接続して、パソコンの音声を出力できます。

接続可能なヘッドホン／オーディオ機器(☞ 仕様一覧)

マイクジャック(🎤)(ピンク)

外部マイクを接続して、アナログ音声を入力できます。

接続可能なマイク(☞ 仕様一覧)

メモリーカードスロット(xD SD ／ MS)

xD- ピクチャーカード、SD メモリーカード、メモリースティックを使用できます。

使用可能なメモリーカード(☞ 仕様一覧)

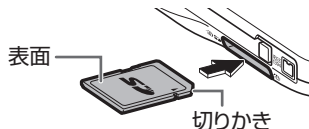
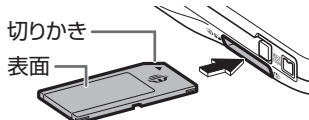
メモリーカードを差し込む

同時に複数のメモリーカードを差し込むことはできません。

1 **データを書き込むときは、メモリーカードの書込み禁止スイッチを解除位置にする。**

2 **メモリーカードの表面を上にして、「カチッ」と音がするまで差し込む。**

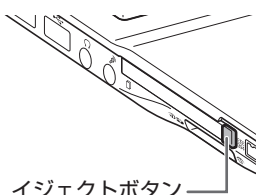
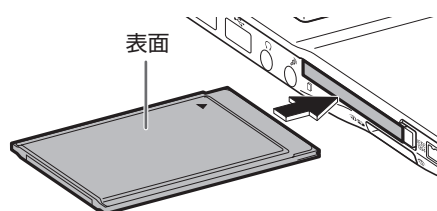
xD-ピクチャーカードの場合

SDメモリーカードの場合

メモリースティックの場合

PC カードスロット( )

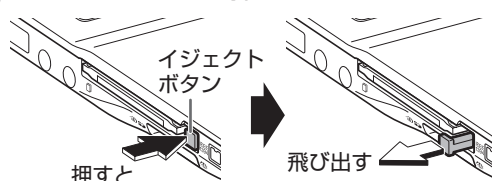
使用可能な PC カード(☞ 仕様一覧)

PC カードを差し込む

1 イジェクトボタンが飛び出していないことを確認する。

飛び出している場合はイジェクトボタンを押し込んでください。

2 PC カードの表面を上にして、奥までしっかりと差し込む。

PC カードを取り出す

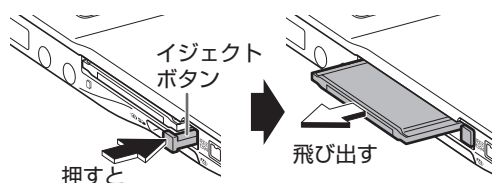
1 「ハードウェアの安全な取り外し」の操作をする。(☞ 41 ページ)

2 イジェクトボタンを押す。

3 もう一度イジェクトボタンを押し、PC カードを取り出す。

メモリーカードを取り出す

1 「メモリーカードの取り出し」の操作をする。(☞ 42 ページ)

2 スロットのくぼみから見えている部分を「カチッ」と音がするまで押し込む。

3 メモリーカードの両端を持って、ゆっくりと引き出す。

ご注意　PC カードおよびメモリーカード使用時の注意

- カードの差し込み／取り出しは、必ず手順どおりに操作してください。間違った向きで差し込んだり、「ハードウェアの安全な取り外し」または「メモリーカードの取り出し」の操作をしなかった場合、故障の原因になったり、カードやデータが破損することがあります。
- PC カードスロットに、誤って xD- ピクチャーカード、SD メモリーカード、メモリースティックなどを差し込まないように注意してください。カードを取り出せなくなり、故障の原因になります。
- パソコンを移動するときはカードを取り外してください。特にカードの一部がパソコンから突き出すものは、カードに無理な力が加わりカードおよびカードスロットの故障の原因となります。
- PC カードによっては、長時間使用した場合、熱くなるものがあります。取り出すときに注意してください。
- miniSD カード、microSD カード、メモリースティック デュオ、メモリースティック PRO デュオおよびメモリースティック マイクロは、市販の専用アダプターが必要です。アダプターに装着しないでカードを差し込むと、カードが取り出せなくなったり、故障の原因になります。

■右側面

CD/DVD ドライブ

このパソコンには、DVD スーパーマルチドライブが搭載されています。

CD/DVD ドライブ対応ディスク一覧(☞ 仕様一覧)

ご注意

- CD/DVD にデータ書き込み中、CD/DVD 再生中は、イジェクトボタンを押さないでください。データの書き込みに失敗したり、再生が途中で停止するなど、誤動作の原因となります。
- レンズに手を触れないでください。レンズが汚れると、故障の原因になります。

ディスクをセットする

1 イジェクトボタンを押し、トレイを引き出す。

2 ディスクをトレイに置き、ディスクの中央を「カチッ」と音がするまで押さえる。

ディスクのラベル面を上にしてセットします。

3 「カチッ」と音がするまでトレイを押し込む。

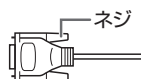
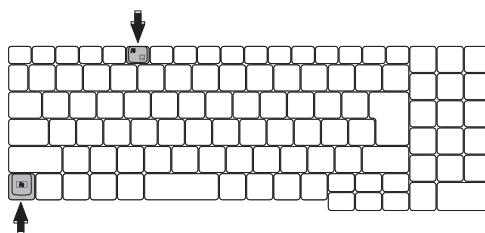
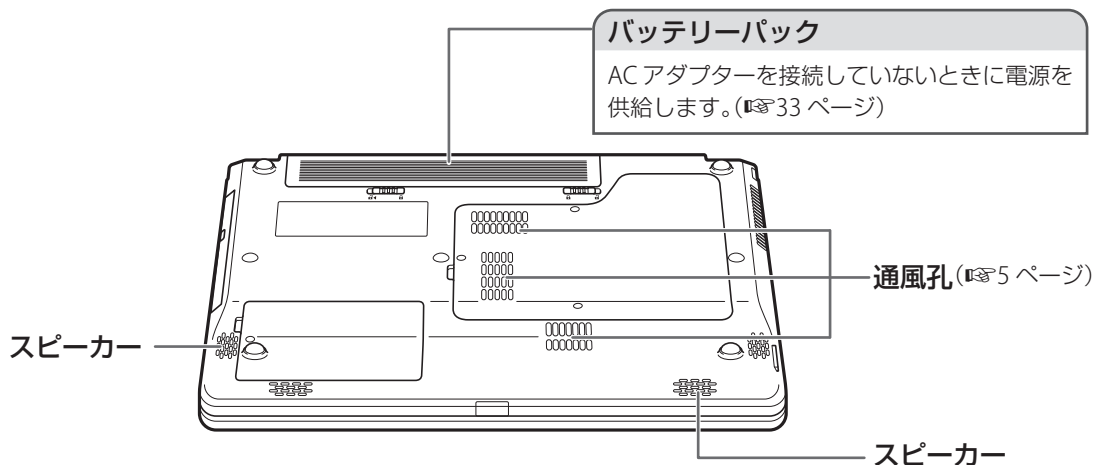
ディスクが認識されるまで 10 秒以上かかります。

ディスクを取り出す

ディスクの両端を持って取り出す。

ディスクの片端を指で軽く押さえ、もう片端を少し浮かして取り出してください。

■後面

USB コネクター（）
USB 規格対応の機器を接続します。USB ケーブルのマークを右向きにして接続してください。
USB 機器の取り外し
接続している USB 機器によっては「ハードウェアの安全な取り外し」（☞41 ページ）の操作が必要な場合があります。
AC アダプタージャック（ ）
（☞ はじめにお読みください ）
盗難防止ホール（ ）
市販の盗難防止ロックをつなぐと、パソコンを持ち運べないように固定できます。
ディスプレイコネクター（ ）
外部ディスプレイ（アナログ）やプロジェクターを接続します。
接続／取り外し時は、パソコンとディスプレイの電源を切ってください。
ディスプレイケーブルのコネクターにネジがある場合は、ネジを締めてコネクターを固定してください。
ネジ
画面の表示先を切り替える
表示させたい画面に切り替わるまで Fn ＋ F5 （ ）キーを押します。

■ 底面

ランプについて

充電中、一時的に ランプが消えることがあります

バッテリーを充電しながらパソコンを使用中、CPU が多くの処理をしているときや周辺機器を使ったために電力消費が大きくなった場合に、 ランプ(オレンジ色)が消えることがありますが、故障ではありません。また、充電中にバッテリーパックの温度が上がり過ぎた場合にも、安全のため充電が一時中止され、 ランプ(オレンジ色)が消えます。バッテリーパックの温度が下がると充電が再開されます。

ランプがオレンジ色に点滅しているときは

バッテリーパックが正しく装着されていない可能性があります。パソコンの電源を切り、いったん、AC アダプターとバッテリーパックを取り外し、バッテリーパックを装着し直してから、再度 AC アダプターを接続してみてください。それでも同じなら、バッテリーパックの寿命、劣化、故障、またはパソコンの故障が考えられます。点検を依頼してください。

周辺機器を使用するときは

- 周辺機器のカタログやパッケージで、Windows Vista に対応しているか確認してください。
- 周辺機器を使用するためには専用のソフトウェアのインストールが必要な場合があります。お使いの周辺機器の説明書に従ってソフトウェアをパソコンにインストールしてください。

ご参考

- 接続可能な周辺機器については、お買いあげの販売店にお問い合わせいただくか、下記のメビウスサポートページを参照してください。動作確認が取れ次第、機種別ページにて順次ご案内します。
http://support.sharp.co.jp/mebius/

電源の入れ方／切り方

電源の入れ方と切り方を確認しましょう。
はじめて電源を入れるときは、はじめにお読みください を参照してください。

電源を入れる

1 電源ボタンを押す。

(電源)ランプが緑色、電源ボタンが青色に点灯し、Windowsが起動します。

デスクトップが表示されます。

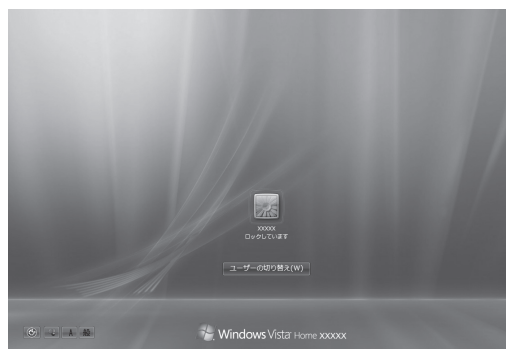
画面は一例です。
デスクトップが表示され、操作可能になるまでに少し時間(約10分)がかかることがあります。

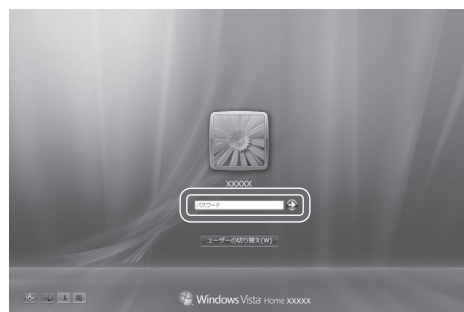
ご注意

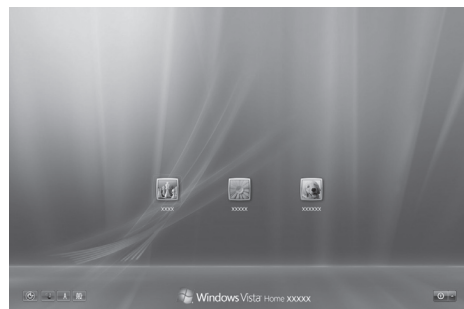
- 電源を入れてパソコンが起動するまでは、必要なとき以外はキーボードやタッチパッドに触らないでください。正常に起動できなくなる場合があります。

スリープのときは

- スリープ(ランプと電源ボタン点滅)のときは、電源ボタンを押す代わりに、キーボードのキーを押しても電源が入ります。

2 次の画面が表示されたときは、[Enter] キーを押す。

パスワードを設定している場合

- パスワードを入力し、[Enter] キーを押してください。

ユーザーアカウントを複数設定している場合

- 使用するユーザー名をクリックして選択してください。

電源を切る

パソコンの電源を切るときは、スリープまたはシャットダウンで電源を切ります。
通常は、短時間でパソコンが操作可能な状態になるスリープで電源を切ることをお勧めします。

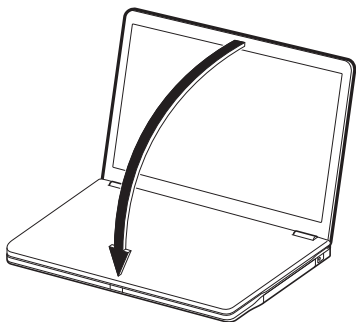
ご注意

- 誤動作やデータの損失を防ぐため、スリープに移行する前には、データの読み書き／通信／印刷等の作業はすべて終了してください。特にデータの書き込みをしているときは、スリープにしないでください。スリープの操作をすると、データの書き込み中であっても、何もメッセージが表示されずスリープに移行してしまうため、書き込みに失敗します。
- スリープや休止状態への移行中および復帰中は、パソコンや周辺機器に触れたり、周辺機器の取り付け／取り外しをしないでください。誤動作の原因となります。

電源を切る（スリープ）

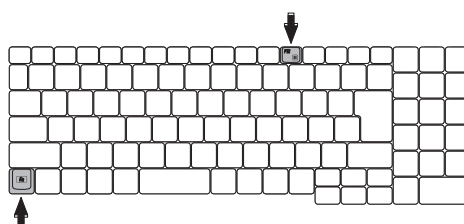
1 電源ボタンを押す。

画面の表示が消え、しばらくすると、⏻ ランプと電源ボタンが点滅します。

2 ディスプレイをゆっくりと閉じる。

ご参考

- スリープのときは、ほとんどの電源供給は停止されていますが、完全に電源が切れているわけではありません。数日間パソコンを使用しないときや、バッテリー交換、メモリー増設などの作業をするときは、シャットダウン(☞ 次ページ)で電源を切ってください。

次の方法でもスリープにできます

- （スタート）をクリックし、 をクリックする
- Fn ＋ F12（ ）キーを押す

スリープとシャットダウンの違いについて

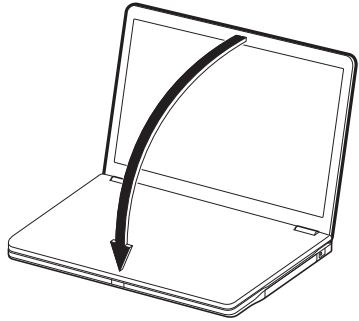
電源の切り方	特徴	⏻ランプと電源ボタンの状態	電源を入れるには
スリープ※	現在の状態（ウィンドウの位置やサイズなどを含む、使用中のプログラムに関する情報など、作業内容すべて）を保存し、ほとんどの電源供給を停止します。次に電源を入れると、短時間でスリープに入る前と同じ状態が表示されますので、すぐに作業を再開できます。	点滅	電源ボタンを押す または キーボードの任意のキーを押す
シャットダウン	現在の状態を保存せず、パソコンの電源を完全に切ります。 作業中のデータがある場合は、シャットダウンの前にデータを保存する必要があります。 以下の作業をするときは、シャットダウンで電源を切る必要があります。 ● バッテリーを交換する ● メモリーを増設する ● 再インストールする ● ハードディスクの全データを消去する	消灯	電源ボタンを押す

※　ご購入時の設定では、バッテリー残量が非常に少なくなったとき、またはスリープに移行後 18 時間経過したときは、自動的に休止状態に移り、⏻ランプと電源ボタンが消灯します。休止状態では、パソコンの電源は完全に切れていますが、ハードディスクに作業状態が保存されています。次に電源ボタンを押して電源を入れると、保存済みの開いていたプログラムとドキュメントが復元されますので、パソコンの起動後、すぐに作業を再開できます。

電源を切る（シャットダウン）

1 （スタート）をクリックする。

2 マウスポインターを ▶ の上に移動し、「シャットダウン」をクリックする。

3 ディスプレイをゆっくりと閉じる。

ご注意

- シャットダウンしたときに再び電源を入れるときは、必ず 10 秒以上の間隔をおいてください。連続して電源を切ったり入れたりすると、故障の原因になります。

Windows Vista の基本操作

このパソコンには、Windows Vista Home Premium が搭載されています。ここでは、Windows Vista の基本操作について簡単に説明します。
詳しい操作方法については、Windows の「ヘルプとサポート」(☞ 下記)を参照してください。

(スタート)

検索ボックス

ここに文字を入力してファイルやフォルダまたはソフトウェアを検索できます。詳しくは、**【パソコン電子マニュアル】**(☞31 ページ)の「**使い方を知りたい**」−「**データ/ファイル**」−「**ファイル操作**」を参照してください。

スタートメニュー

(スタート)をクリックすると、スタートメニューが表示されます。
スタートメニューは、パソコンの操作の入り口です。通常はここからソフトウェアを起動したり、ファイルやフォルダを開いたりします。また、パソコンの設定を調整するとき、パソコンの電源を切るときなどもこのスタートメニューを使用します。

すべてのプログラム

パソコンにインストールされているソフトウェアを起動することができます。

電源ボタン

(☞26 ページ)

ヘルプとサポート

ここをクリックすると Windows の詳しい説明が表示されます。
スタートメニューの詳細については、ヘルプとサポートの「Windows の基本操作」を参照してください。

※画面は一例です。デスクトップの背景(壁紙)、画面デザイン、表示される項目名やアイコンなどの種類や位置などは実際の画面と異なる場合があります。

デスクトップ

ソフトウェアを使って作業したり、ファイルやフォルダを開いたり、よく使うアイコンを置くことができるいわゆる"机の上"です。ここでは、デスクトップに表示されるフォルダウィンドウについて簡単に説明します。

アドレスバー
▼をクリックすると他のフォルダへ移動します。

ナビゲーションウィンドウ
クリックするとそのフォルダに直接移動します。よく使うフォルダを追加しておくと便利です。

検索ボックス
ここに文字を入れてフォルダ内のファイルやサブフォルダを検索できます。

ファイル一覧
現在のフォルダの内容が表示されます。

詳細ペイン
選択したファイルの情報が表示されます。

ご参考

- Windows Vista Home Premium では、Windows Aero 機能(☞ 次ページ)によりウィンドウの後ろが透けて見えます。

サイドバー

【パソコン電子マニュアル】や時計などのガジェットが表示されます。ガジェットは追加したり消したりできます。詳しくは、【パソコン電子マニュアル】(☞31 ページ)の「**使い方を知りたい**」－「**パソコンの設定**」－「**画面表示**」を参照してください。

タスクバー

(スタート)

タスクバーボタン
開いているウィンドウ(プログラムやファイル)に対応するボタンが表示されます。ボタンをポイントするとウィンドウの縮小画面が表示され(☞ 次ページ)、ボタンをクリックするとウィンドウが手前に表示されます。

クイック起動ツールバー
アイコンをクリックするだけでソフトウェアを起動できます。よく使うソフトウェアを登録しておくと便利です。
詳しくは、【パソコン電子マニュアル】(☞31 ページ)の「**使い方を知りたい**」－「**使いこなし**」を参照してください。

(ウィンドウを切り替える)ボタン
開いているウィンドウが立体(3D) 表示されます。表示したいウィンドウをクリックすると手前に表示されます。(☞ 次ページ)

(デスクトップの表示)ボタン
開いているウィンドウを非表示にしてデスクトップを表示します。

通知領域
時計やパソコンの設定状態を知らせるアイコンが表示されます。

Windows Aero 機能

Windows Aero（エアロ）機能とは、Windows Vista Home Premium の特徴機能のひとつで、ウィンドウ枠が透けて見えたり、画面切り替えが立体で表示（フリップ 3D）されたり、開いているウィンドウが縮小表示されたりします。

半透明なウィンドウ

スタートメニューの右半分やウィンドウ枠が半透明なので、下にあるウィンドウやデスクトップが透けて見えます。

下のウィンドウが透けて見える

開いているウィンドウの縮小表示

ウィンドウのタスクバーボタンにマウスポインターを合わせると、ウィンドウの縮小画面が表示されます。

ご参考

- Alt + Tab キーを押したときに表示される切り替え画面にも、開いているウィンドウが縮小表示されます。Alt キーを押したまま、繰り返し Tab キーを押し、Alt キーを離すと選択したウィンドウが表示されます。

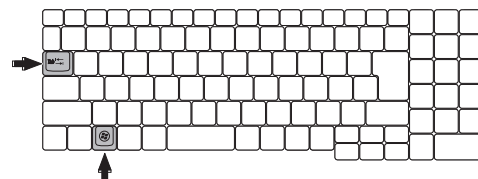
フリップ 3D で画面を切り替える

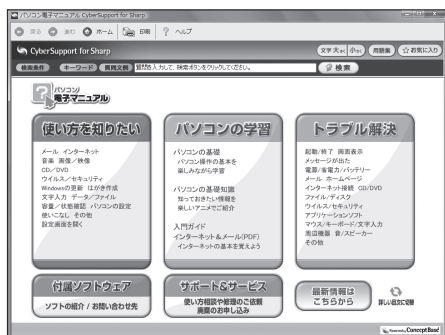
フリップ 3D を使用すると、開いているウィンドウを斜めから立体的に表示できるので、たくさんのウィンドウの中から目的のウィンドウを探すときなどに便利です。

1 タスクバーの をクリックする。

2 使いたいウィンドウをクリックする。

ご参考

- タスクバーの をクリックした後、↓ キーまたは ↑ キーを押すとウィンドウの順番が入れ替わります。使いたいウィンドウを一番前に表示させて ⏎ キーを押すと、フリップ 3D が終了し、選択したウィンドウが前面に表示されます。
- Windows ロゴキーを押しながら Tab キーを押してもフリップ 3D が起動します。Windows ロゴキーを押したまま、繰り返し Tab キーを押し、Windows ロゴキーを離すと、離したときに最前面にあるウィンドウが表示されます。

パソコン電子マニュアルの使い方

【パソコン電子マニュアル】には、このパソコンに入っている主なソフトウェアの一覧や、いろいろな使い方、問題が発生したときの対処方法などの説明があります。
ここでは、【パソコン電子マニュアル】をお使いいただくための基本的な操作を説明します。

ご参考

- 【パソコン電子マニュアル】の詳しい使い方については ヘルプ をクリックして、ヘルプを参照してください。

パソコン電子マニュアルを表示する

【パソコン電子マニュアル】は、次のいずれかの方法で表示します。

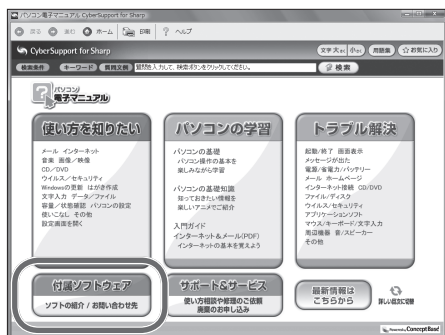
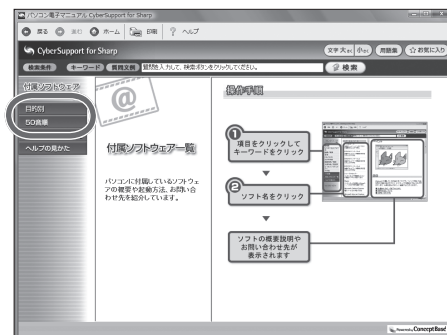
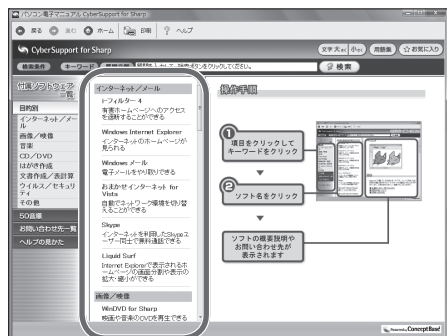
ガジェットから表示する

ガジェットの パソコン電子マニュアル をクリックする。

スタートメニューから表示する

（スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「パソコン電子マニュアル」の順にクリックする。

どんなソフトが入っているのか確かめる

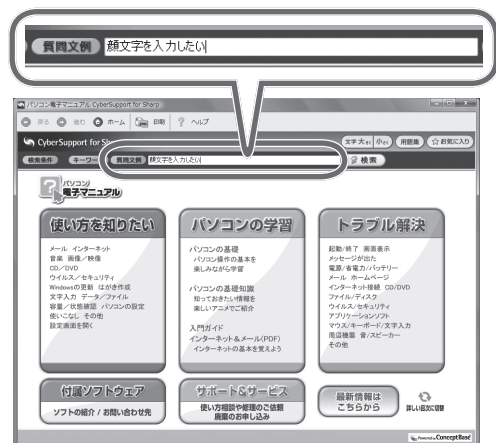
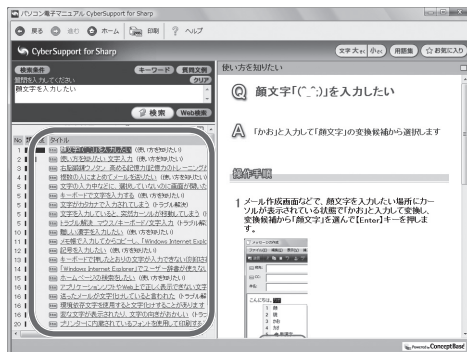
1 「ソフトの紹介」をクリックする。

2 「目的別」または「50音順」をクリックする。

画面中央の列に、ソフトウェアの一覧が表示されます。

ご参考

- 【パソコン電子マニュアル】のトップ画面に戻るには、ホーム をクリックします。

説明が載っていないか探す（検索）

1 「質問文欄」に、質問の文を入力する。

2 「検索」をクリックする。

検索結果が表示されます。
画面の左側に、質問文と類似度が高いタイトルが順にリスト表示されます。
画面の右側に、リストの一番上の情報が表示されます。

3 見たいタイトルをクリックする。

クリックしたタイトルの情報が画面の右側に表示されます。

【パソコン電子マニュアル】が表示されていないときは

- ガジェットの「質問を入力」欄に質問の文を入力し、[マニュアル検索]をクリックすると、【パソコン電子マニュアル】が起動し、質問に対する検索結果が表示されます。

バッテリーパックの初期化と交換

バッテリー残量表示と実際の使用時間の差が大きくなったときや、新しいバッテリーパックと交換したときは、バッテリーパックを初期化してください。また、バッテリーパックは消耗品です。初期化しても極端に使用時間が短くなったときは、新しいバッテリーパックと交換してください。

ご参考

- 充放電を繰り返すうちにバッテリーが劣化し、使用時間が極端に短くなります(常温で約 300 回が目安です)。バッテリーの劣化は、使用状況や動作環境によって異なります。

バッテリー残量を確認するには

タスクバーの またはの上にマウスポインターを移動するとバッテリーの残量がパーセント表示されます。

表示されるアイコンは、AC アダプターを接続しているかどうかで異なります。

- AC アダプターを接続しているとき　：
- AC アダプターを接続していないとき ：

新しいバッテリーパックをお求めのときは

パソコンをお買いあげの販売店または修理相談窓口(☞ サポートのご案内)にお問い合わせください。ただし、販売店によってはお取り扱いがない場合もあります。

バッテリーパックを初期化する

1 **Fn + F7 (▲☼)キーを数回押して画面の明るさを最大にする。**

2 **パソコンの電源を切る。**

① (スタート)をクリックする。

② マウスポインターを の上に移動し、「シャットダウン」をクリックする。

3 **AC アダプターを接続して満充電になるまで充電する。**

満充電になると、 ランプが緑色に点灯します。

4 **パソコンの電源を入れる。**

5 **「Press F2 for System Utilities」と表示されたらすぐに、F2 キーを押す。**

セットアップユーティリティ画面が表示されます。

6 **AC アダプターを外してバッテリーの残量が完全になくなって電源が切れるまで放置する。**

満充電からバッテリーの残量が完全になくなるまで約 2 時間かかります。

7 **AC アダプターを接続して満充電になるまで充電する。**

約 3 時間かかります。

ランプが緑色に点灯して満充電になるまでパソコンの電源は入れないでください。

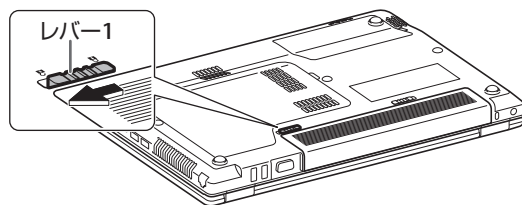
バッテリーパックを交換する

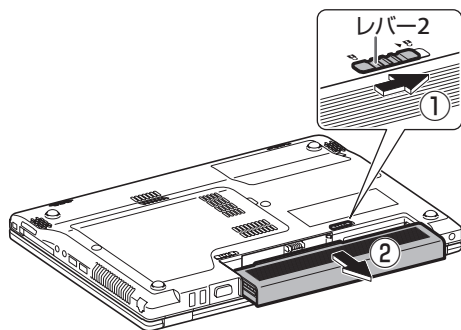
1 パソコンの電源を切る。

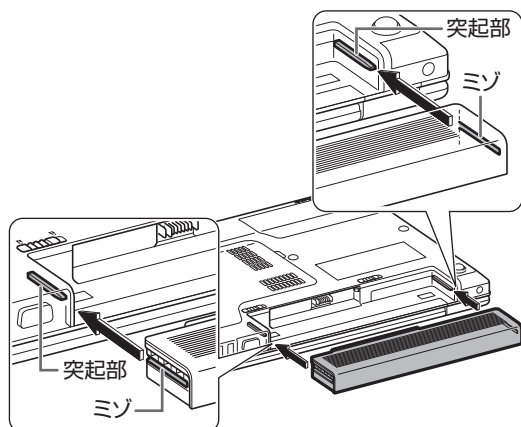
① (スタート)をクリックする。
② マウスポインターを の上に移動し、「シャットダウン」をクリックする。

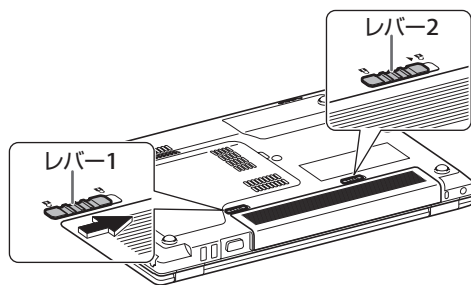
2 AC アダプターを取り外す。

3 ディスプレイを閉じ、パソコンを裏返す。

4 レバー 1 を矢印の方向にスライドして解除位置( )にする。

5 バッテリーパックを取り外す。

① レバー 2 を矢印の方向にスライドする。
② レバー 2 をスライドしたまま、バッテリーパックを引き出す。

6 新しいバッテリーパックを取り付ける。

① バッテリーパックのミゾをパソコンの突起部に合わせて差し込む。
② 「カチッ」と音がするまで、バッテリーパックを押し込む。

7 レバー 2 が完全にロック位置( )に戻っていることを確認し、レバー 1 を矢印の方向にスライドしてロック位置( )にする。

レバー 2 がロック位置( )に戻っていない場合は、バッテリーパックを押し込んでください。

インターネット接続（LAN・ワイヤレス LAN）

このパソコンでは、LAN ジャックに LAN ケーブルを接続して使用する LAN 機能、ケーブルが不要なワイヤレス LAN 機能を使ってインターネットに接続できます。

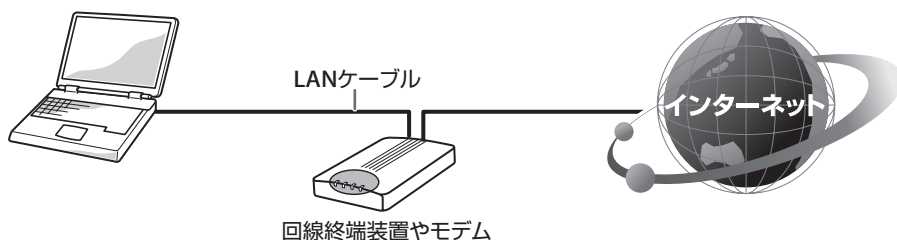
【入門ガイド～インターネット＆メール】もあわせて参照してください

- インターネットに接続するには、利用する通信回線を決めて、回線事業者やプロバイダーと契約する必要があります。電子マニュアルの【入門ガイド～インターネット＆メール】では、インターネットのしくみ、インターネットへの接続方法、ホームページの見かたや電子メールの送受信の方法など、インターネットに関する基本を詳しく説明しています。【入門ガイド～インターネット＆メール】を表示するには、【パソコン電子マニュアル】（☞31 ページ）の「パソコンの学習」－「入門ガイド～インターネット＆メール」をクリックしてください。

必ずセキュリティ対策をしてください

- パソコンをコンピュータウイルスや不正アクセスから守るために、インターネットに接続できる環境が整ったら、必ずセキュリティ対策をしてください。（はじめにお読みください ☞「STEP5 セキュリティ対策をする」）

LAN ケーブルでインターネットに接続する

LAN ケーブルを使って LAN ジャックに回線終端装置やモデムなどを接続すると、モデムなどを経由してインターネットに接続することができます。

必要なもの

インターネットに接続するためには、次のようなものが必要になります。

- **回線終端装置、ADSL モデム、ケーブルモデム**
  利用する回線により必要な機器は異なります。
  ・FTTP（光ファイバー）　：回線終端装置
  ・ADSL　：ADSL モデム
  ・CATV（ケーブルテレビ）：ケーブルモデム
- **ブロードバンドルーター**
  複数台のパソコンをインターネットに接続するときに使用します。ADSL モデムに内蔵されている場合もあります。
- **LAN ケーブル（ストレートケーブル）**
  100BASE-T の通信をするときは、カテゴリー 5 以上の LAN ケーブルをお使いください。

ご参考

- 必要なものについては、ご利用のプロバイダーや回線事業者に確認してください。

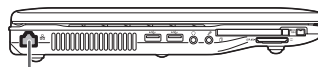
使うための接続／設定

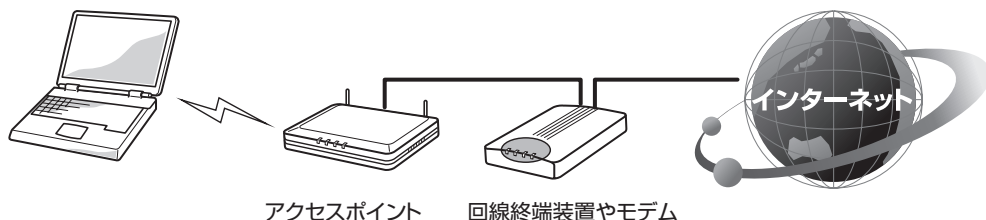
インターネットに接続するためには、このパソコンとモデムやブロードバンドルーターなどを接続し、ネットワークの設定をする必要があります。

> 機器の接続や設定方法については、ご利用のプロバイダーや回線事業者から送られてくる資料、および機器に付属の説明書を参照してください。

パソコンに LAN ケーブルを接続するには

LAN ケーブルのコネクターのツメを上にして、LAN ジャックに差し込みます。

パソコン左側面

ワイヤレス LAN でインターネットに接続する

回線終端装置やモデムなどにワイヤレス LAN アクセスポイントまたはワイヤレス LAN ブロードバンドルーター（以下「アクセスポイント」と表記します）を接続し、アクセスポイントを経由してインターネットに接続することができます。パソコンとアクセスポイントの間はケーブルで接続する必要がありませんので、たとえば 1 階のリビングに ADSL モデムやアクセスポイントが設置されていても、2 階の部屋のパソコンでホームページを見たり、メールのチェックをしたりできます。

必要なもの

インターネットに接続するためには、次のようなものが必要になります。

- **回線終端装置、ADSL モデム、ケーブルモデム**
  利用する回線により必要な機器は異なります。
  FTTP（光ファイバー）　：回線終端装置
  ADSL　：ADSL モデム
  CATV（ケーブルテレビ）：ケーブルモデム
- **ワイヤレス LAN アクセスポイントまたはワイヤレス LAN ブロードバンドルーター**
  モデムなどに接続し、パソコンとの間はワイヤレスで通信します。

ご参考

- 必要なものについては、ご利用のプロバイダーや回線事業者に確認してください。

接続できる機器

このパソコンのワイヤレス LAN 機能は、「IEEE802.11b」および「IEEE802.11g」の両方の規格に準拠しています。IEEE802.11b 準拠のアクセスポイント、または IEEE802.11g 準拠のアクセスポイントと接続できます。ただし、機器によっては接続できない場合もあります。IEEE802.11a 規格にのみ準拠しているアクセスポイントとは通信できません。

ご参考

- 接続可能なアクセスポイントについては、お買いあげの販売店にお問い合わせいただくか、下記のメビウスサポートページを参照してください。動作確認がとれ次第、機種別ページにて順次ご案内します。
  http://support.sharp.co.jp/mebius/

使うための接続／設定

インターネットに接続するためには、モデムやアクセスポイントなどの接続やネットワーク設定をする必要があります。また、アクセスポイントにはセキュリティ関係の設定も必要です。

> 機器の接続や設定方法については、ご利用のプロバイダーや回線事業者から送られてくる資料、および機器に付属の説明書を参照してください。

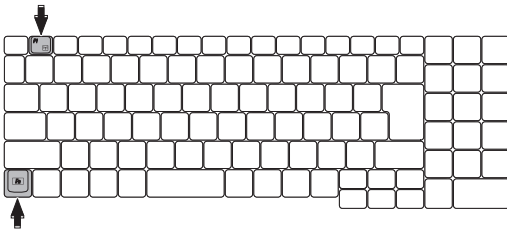
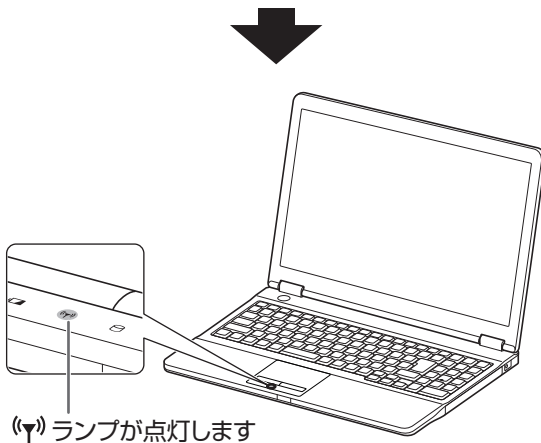
機器の接続やネットワーク設定が完了したら、次ページを参照してワイヤレスの LAN のアンテナを有効にし、パソコンをアクセスポイントに接続します。

アクセスポイントにはセキュリティ設定をしてください

- ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続するときは、お使いのアクセスポイントの説明書を参照して必ずセキュリティを設定してください。また、「**ワイヤレス LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意**」（☞11 ページ）もあわせて参照してください。

ワイヤレス LAN を使えるようにする

ワイヤレスで通信するためには、ワイヤレス LAN のアンテナを有効にする必要があります。
アンテナが有効かどうかは、((Y)) (ワイヤレス LAN 状態)ランプで確認します。

Fn + F1 (((Y)))キーを押す

Fn + F1 (((Y)))キーを押すたびに有効、無効が切り替わります。

((Y)) ランプ

点灯	アンテナ有効
消灯	アンテナ無効

ご注意

- 医療用電気機器の近くや航空機内などでは、ワイヤレス LAN のアンテナを無効にしてください。電波により各機器の動作に影響を与え、事故の原因となることがあります。(☞4 ページ)

SSID(ネットワーク名)を通知するアクセスポイントに接続する

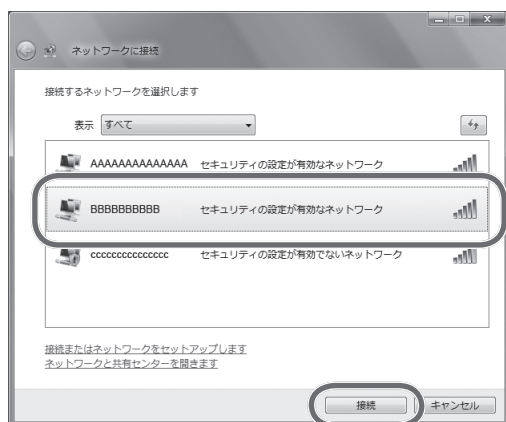
アクセスポイントへの接続方法は、接続するアクセスポイントが SSID(ネットワーク名)を通知する設定にしているか、通知しない設定にしているかで異なります。あらかじめアクセスポイントの設定を確認しておいてください。SSID 非通知のアクセスポイントに接続するときは、次ページを参照してください。

1 ワイヤレス LAN のアンテナを有効にする。(☞ 左記)

ワイヤレス LAN のアンテナが無効から有効に切り替わると、数十秒間タスクバーに [アイコン] と [アイコン] が交互に表示されます。

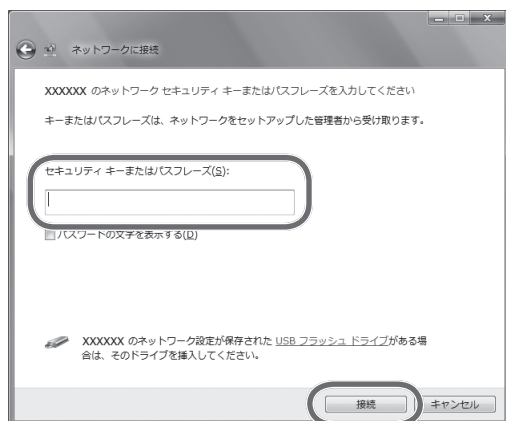
2 タスクバーの [アイコン] または [アイコン] をクリックし、「ネットワークに接続」をクリックする。

「ネットワークに接続」画面が表示されます。

3 接続したいネットワーク名をクリックして選択し、[接続]をクリックする。

接続したいネットワーク名が表示されていないとき

- 画面右側の をクリックしてみてください。それでもネットワーク名が表示されないときは、アクセスポイントの電源が入っているか、アクセスポイントの設定が SSID（ネットワーク名）非通知に設定されていないか確認してください。アクセスポイントが SSID 非通知に設定されている場合は、次ページを参照してください。

4 「セキュリティキーまたはパスフレーズ」欄にキーを入力し、[接続]をクリックする。

アクセスポイントに設定しているセキュリティキーまたはパスフレーズを入力してください。

ネットワークへの接続が開始されます。

セキュリティが設定されていない場合

- セキュリティの設定が有効でないネットワークを選択すると、手順 **4** の画面は表示されず「セキュリティ保護されていないネットワークです」と表示されます。「接続します」をクリックするとネットワークに接続できますが、第三者にデータを盗まれたりする可能性がありますので、セキュリティの設定をすることを強くお勧めします。

5 「正しく接続しました」と表示されたら[閉じる]をクリックする。

2 回目以降の接続について

- 手順 **5** の画面で「この接続を自動的に開始します」にチェックマークを付けておくと、ワイヤレス LAN のアンテナが有効になっているときは、アクセスポイント（ネットワーク）検出後、自動的に接続されます。ただし、いったん手動で切断した場合は、再度手動で接続し直すか、パソコンを再起動するまでは、自動的には接続されません。

SSID（ネットワーク名）非通知のアクセスポイントに接続する

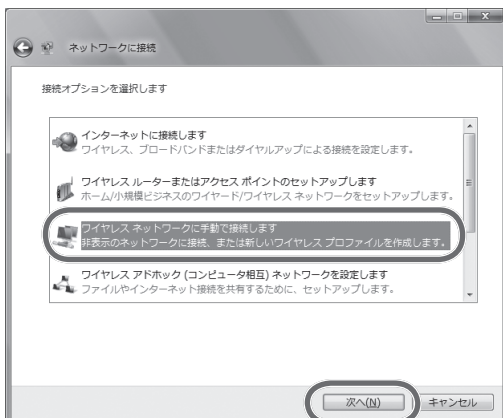
1 ワイヤレス LAN のアンテナを有効にする。（☞ 前ページ）

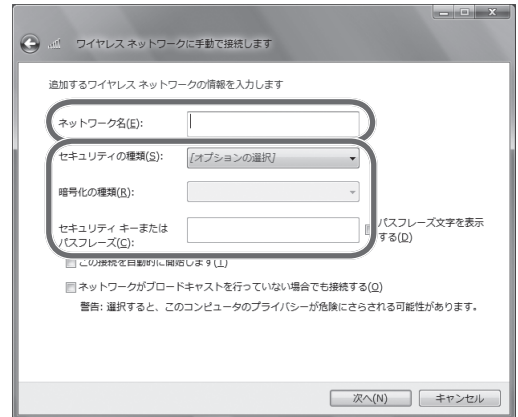
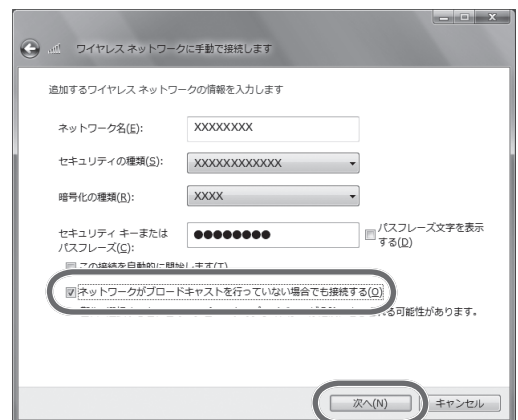
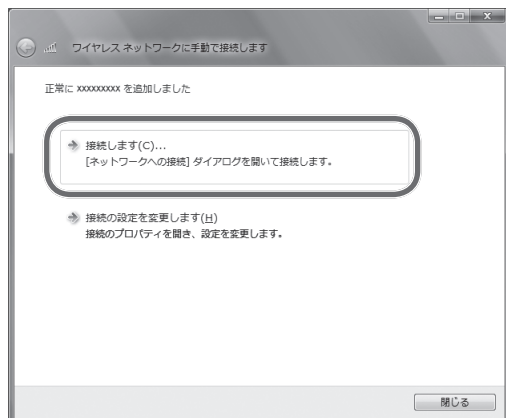
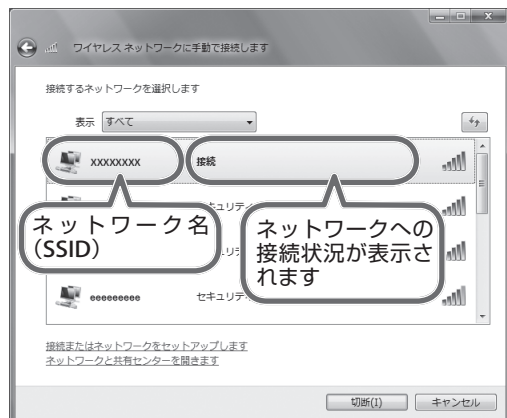
ワイヤレス LAN のアンテナが無効から有効に切り替わると、数十秒間タスクバーに と が交互に表示されます。

2 タスクバーの または をクリックし、「ネットワークに接続」をクリックする。

「ネットワークに接続」画面が表示されます。

3 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリックする。

4 「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」をクリックし、[次へ]をクリックする。

5 接続するアクセスポイントの「ネットワーク名」を入力し、セキュリティを設定する。

アクセスポイントの設定と同じ設定にします。アクセスポイントがセキュリティを設定していない場合は、「セキュリティの種類」を「認証なし（オープンシステム）」に設定してください。

6 「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」をクリックしてチェックマークを付け、[次へ]をクリックする。

7 「接続します」をクリックする。

ネットワークへの接続が開始されます。
ネットワークへ正しく接続されると、下記画面のように、ネットワーク名の右側に「接続」と表示されます。

追加したネットワーク名が表示されないとき

- ネットワーク名が間違っていないか、アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。

接続できなかったときは

- ネットワーク名が表示されているのに、接続できなかったときは、次の手順に従って、セキュリティ設定が正しいか確認してください。
  ①ネットワーク名を右クリックし、「プロパティ」をクリックする。
  ワイヤレスネットワークのプロパティ画面が表示されます。
  ②「セキュリティ」タブで、「セキュリティの種類」と「暗号化の種類」を確認する。
  ③「ネットワークセキュリティキー」欄をクリックし、もう一度パスワードを入力し直す。
  このとき、「パスワードの文字を表示する」をクリックしてチェックマークを付けると、入力した文字を確認できます。
  「暗号化の種類」を「なし」に設定したときは、「ネットワークセキュリティキー」欄は表示されません。
  ④ [OK] をクリックする。

8 ネットワークへの接続が完了したら、[キャンセル] をクリックして画面を閉じる。

2 回目以降の接続について

- 手順 **6** の画面で「この接続を自動的に開始します」にチェックマークを付けておくと、ワイヤレス LAN のアンテナが有効になっているときは、アクセスポイント（ネットワーク）検出後、自動的に接続されます。ただし、いったん手動で切断した場合は、再度手動で接続し直すか、パソコンを再起動するまでは、自動的には接続されません。

周辺機器やメモリーカードの取り外し

周辺機器やメモリーカードは、取り外す前に「ハードウェアの安全な取り外し」または「メモリーカードの取り出し」の操作をしてください。

PC カードスロットに挿入しているカード類
USB コネクターに接続している周辺機器※
IEEE1394 コネクターに接続している周辺機器

※ USB キーボード、USB マウスなどは除く

ハードウェアの安全な取り外し
（☞ 下記）

メモリーカードスロットに挿入しているメモリーカード
xD- ピクチャーカード、SD カード、メモリースティック

メモリーカードの取り出し
（☞ 次ページ）

ご参考

- USB コネクターや IEEE1394 コネクターに接続している周辺機器の取り外し手順は、機器により異なる場合があります。周辺機器の説明書もあわせて参照してください。

ハードウェアの安全な取り外し

USB 機器、IEEE1394 機器、PC カードスロットに挿入しているカード類などの周辺機器を取り外すときは、以下の手順に従ってください。

1 取り外す周辺機器との間でデータの読み書きなどをしていないことを確認する。

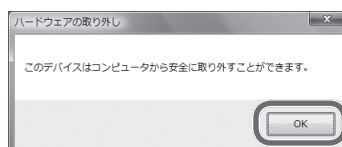
- 動画や音楽ファイルなどを再生しているときは、再生を停止してください。
- ファイルやフォルダを開いているときは、閉じてください。
- ファイルやフォルダのコピー／移動／削除中は、終了するまでお待ちください。

2 タスクバーの をクリックする。

3 表示されるメニューから、「XXXXXXX を安全に取り外します」をクリックする。

XXXXXXXXXXXXXX を安全に取り外します
12:00

「XXXXXXX」の箇所は、取り付けられているカード類または周辺機器によって表示が異なります。

4 ［OK］をクリックする。

5 周辺機器を取り外す。

- **USB 機器や IEEE1394 機器の場合**
  USB ケーブルまたは IEEE1394 ケーブルのコネクタを持ってまっすぐ引き抜いてください。
- **PC カードの場合**
  PC カードスロットのイジェクトボタンを押してカードを取り出します。（☞21 ページ）

メモリーカードの取り出し

メモリーカードスロットに挿入している xD- ピクチャーカード、SD メモリーカード、メモリースティックなどを取り出すときは、以下の手順に従ってください。

1 メモリーカードとの間でデータの読み書きなどをしていないことを確認する。

- 動画や音楽ファイルなどを再生しているときは、再生を停止してください。
- ファイルやフォルダを開いているときは、閉じてください。
- ファイルやフォルダのコピー／移動／削除中は、終了するまでお待ちください。

ご注意

- 必ず上記のことを確認してください。メモリーカードとの間でデータを読み書きしている状態でメモリーカードを取り出すと、パソコンが正常に動作しなくなったり、メモリーカードやデータが破損したりすることがあります。

2 （スタート）をクリックし、「コンピュータ」をクリックする。

「コンピュータ」画面が表示されます。

3 メモリーカードのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「取り出し」をクリックする。

右の画面は、SD メモリーカードの場合です。

「取り出し」をクリックすると、メモリーカードのアイコンが Combo Drive に変わります。

ご参考

- 表示されるアイコンや名前は、メモリーカードの種類や環境によって異なります。メモリーカードに名前が設定されていない場合は、以下のように表示されます。

  SD メモリーカードの場合

  SD Card (F:)

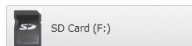
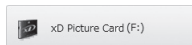
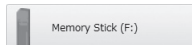
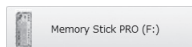
  xD- ピクチャーカードの場合

  xD Picture Card (F:)

  メモリースティックの場合

  Memory Stick (F:)

  メモリースティック Pro の場合

  Memory Stick PRO (F:)

4 メモリーカードを取り出す。（☞21 ページ）

メモリーの増設

メモリーを増やすと、パソコンが一時的に記憶するデータ容量を増やすことになります。その結果、大容量のデータを高速に処理できるようになったり、より多くのソフトウェアを同時に起動できるようになります。

取り付け可能な増設 RAM ボードについて

- 取り付け可能な増設 RAM ボードについては、お買いあげの販売店にお問い合わせいただくか、下記のメビウスサポートページを参照してください。動作確認が取れ次第、機種別ページにて順次ご案内します。
  http://support.sharp.co.jp/mebius/
- 4GB までメモリーを増設できますが、このパソコンでは、OS が使用できるメモリー容量は約 3GB ～ 3.5GB です。使用可能な容量は、ビデオメモリーとして使用する容量やシステムの状態によって異なります。

増設 RAM ボードを取り付ける／交換する

このパソコンのメモリースロットは 2 つあります。
メモリー容量を増やすには、あらかじめ取り付けられている RAM ボードを大容量の RAM ボードと交換します。

ご注意

- RAM ボードは静電気に非常に弱い部品です。そのため、身体に残った静電気などで破損することがあります。取り扱うときは、必ず次の事項を守ってください。
  - ・取り扱う前に、身体の静電気を逃がしておく。
  - ・静電気の起きやすい場所（カーペットの上など）では、取り付け作業をしない。
  - ・RAM ボードの端子部分は、手で触れない。
  - ・RAM ボードを保管するときは、RAM ボードを覆っていた静電気保護材、またはアルミ箔などの導電性の保護材で覆う。
- パソコン内部は、操作に必要な箇所以外には触れないでください。故障の原因になります。

1 パソコンの電源を切る。

① (スタート)をクリックする。
② マウスポインターを ▶ の上に移動し､｢シャットダウン｣をクリックする。

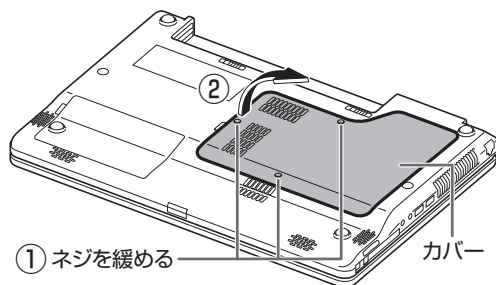
2 AC アダプターとバッテリーパックを取り外す。

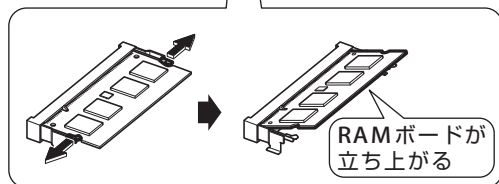
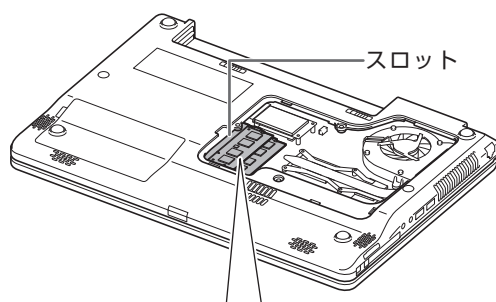
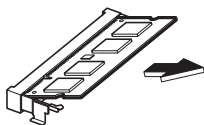
バッテリーパックの取り外し方については､｢バッテリーパックを交換する｣(☞34 ページ)を参照してください。

ご注意

- 必ずパソコンの電源を切り、AC アダプターとバッテリーパックを取り外してください。故障の原因になります。
- 長時間使用した直後は､パソコン内部が熱くなっていることがあります。温度が下がるのを待ってから作業を開始するようにしてください。

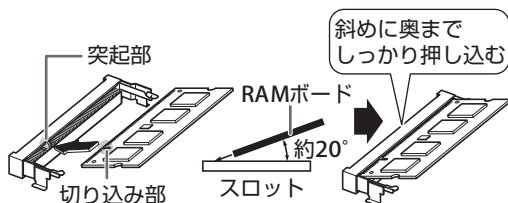
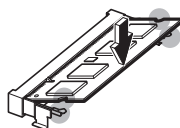
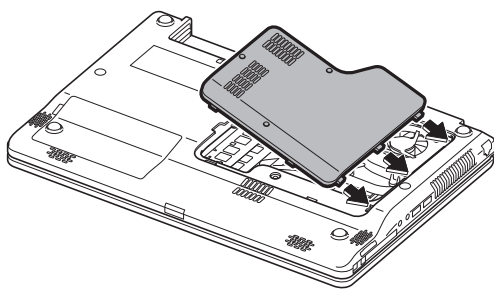
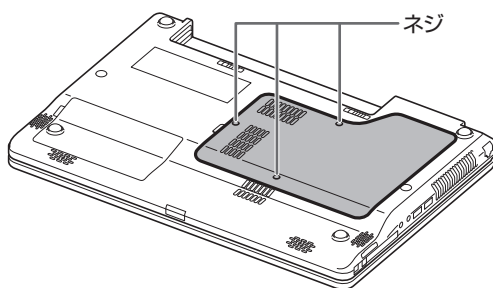
3 カバーを取り外す。

① ネジを 3 本緩める。
ネジは取り外せません。
② カバーを取り外す。

4 取り付けられている RAM ボードを取り外す。

① 上のスロットの左右のツメを外側に開く。
RAM ボードが立ち上がります。

② RAM ボードをまっすぐ引き抜いて、取り外す。

③ 下のスロットの RAM ボードも交換するときは、手順①～②を繰り返す。

5 新しい RAM ボードを取り付ける。

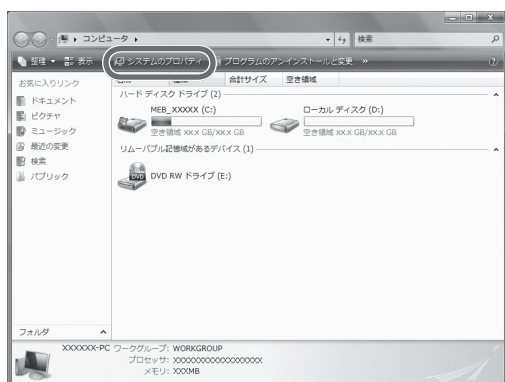
上下のスロットの RAM ボードを交換するときは、先に下のスロットに RAM ボードを取り付けます。

① RAM ボードの切り込み部を取り付ける側のスロットの突起部に合わせて、斜めに奥までしっかり押し込む。

② RAM ボードの左右の切り込み部を、スロットの突起部に合わせて、ゆっくりと押し下げる。
正しく取り付けられると、「カチッ」と音がします。

6 カバーの 2 箇所のツメをパソコンの切り込み部にはめ込み、しっかり奥まで押し込んでから、静かにカバーを元の位置に戻す。

7 カバーをネジで固定する。

8 バッテリーパックと AC アダプターを取り付ける

取り付けが終わったら、電源を入れてメモリー容量を確認してください。
（「メモリーの容量を確認する」☞ 下記）

メモリーの容量を確認する

1 （スタート）をクリックし､「コンピュータ」をクリックする。

2 「 システムのプロパティ」をクリックする。

3 メモリー容量を確認する。

メモリー容量が表示されます

表示されるメモリー容量は、ビデオメモリーとして使用される分 (ご購入時は 128MB)、およびシステムで使用される 2MB を引いた値です。

ご参考

- ビデオメモリーとして使用するメモリー容量は「セットアップユーティリティ」(☞63 ページ) の Advanced メニューで変更できます。
- 4GB にメモリーを増設した場合、表示されるメモリー容量は、ビデオメモリーの設定値やシステムの状態により約 3GB ～ 3.5GB となります。

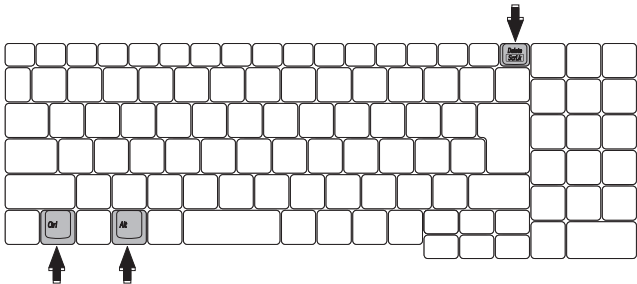
4 画面右上の [x] をクリックして画面を閉じる。

故障かな？と思ったら

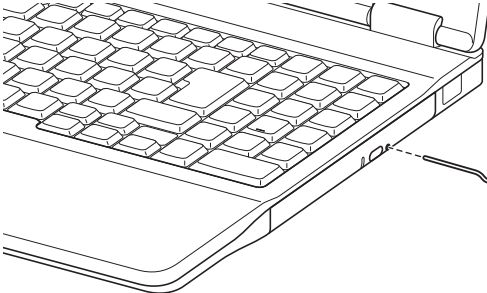
“故障かな？”と思っても、調べてみると故障ではないこともあります。
トラブルによっては、パソコンの故障ではなく、Windows やソフトウェア、または周辺機器に関するトラブルの場合もあります。修理をご依頼になる前に、ここに記載されている内容および下記の説明書やヘルプを参照して問題の解決方法がないか、もう一度よくお確かめください。

- **【パソコン電子マニュアル】**（☞31 ページ）の「**トラブル解決**」
- メビウスサポートページ（**http://support.sharp.co.jp/mebius/**）
- （スタート）をクリックし、「ヘルプとサポート」をクリックして表示されるヘルプ画面
- お使いのソフトウェアや周辺機器の説明書、ヘルプ

それでも問題が解決しないときは

システムの復元やスタートアップ修復を試してみてください。（「**Windows のシステムの修復**」☞50 ページ）
それでも問題が解決しないときは、一度パソコンのハードディスクを初期化して、改めてご購入時の状態に戻すこと（再インストール）をお勧めします。（「**再インストール（ご購入時の状態に戻す）**」☞54 ページ）

Windows 起動時（電源を入れたとき）のトラブル

こんなときは	ここをお確かめください
「Operating System not found」、「READ SECTOR BOOT ERROR」、「MISSING OPERATING SYSTEM」、「Missing operating system」、または「Error loading operating system」と表示される	● 「Operating system not found」と表示されたときは、一度セットアップユーティリティを初期値に戻してみてください。（☞69 ページ） ● 再インストールを中断または失敗したとき、およびハードディスクのデータを消去したときは、これらのメッセージが表示されます。その場合は、電源ボタンを押して電源を切り、ハードディスク全体を再インストールし直してください。 電源を入れたあと、画面の左上に「Press F4 to Recover」と表示されるときは、ハードディスクから再インストールすることができます。「Press F4 to Recover」が表示されないときは、ハードディスクに保存されている再インストール用のデータが削除されていますので、リカバリ CD/DVD から再インストールしてください。（「**再インストール（ご購入時の状態に戻す）**」（☞54 ページ）
電源が入らない	● いったん AC アダプターとバッテリーパックを取り外し、その後 10 秒以上の間隔をおいて AC アダプターとバッテリーパックを取り付けて、電源を入れ直してください。
「Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示される	● セットアップユーティリティの設定が消えています。以下の手順に従って操作してください。 ① 「Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示されているときに、**F1** キーを押す。 Windows が起動します。 ② 日付と時刻を設定する。 設定方法については、**【パソコン電子マニュアル】**（☞31 ページ）の「**使い方を知りたい**」－「**パソコンの設定**」－「**その他**」を参照してください。 ③ 「**セットアップユーティリティ**」（☞63 ページ）の内容を必要に応じて設定し直す。 ご購入時の状態で使用していたときは、特に設定する必要はありません。 ● 上記の操作を行っても、繰り返しこのメッセージが表示されるときは、［サポートのご案内］を参照して、点検をご依頼ください。
Windows 起動時の音が途切れる	● パソコンの故障ではありませんので、動作に影響はありません。

表示に関するトラブル

こんなときは	ここをお確かめください
画面が表示されない	● 何らかのキーを押して省電力機能が働いていないか確認してください。 ● パソコンの電源が入っているか確認してください。 ● バッテリーパックが正しくセットされ、充電されているか確認してください。 ● Fn ＋ F5 ( )キーを数回押し、表示先が外部ディスプレイになっていないか確認してください。 ● Fn ＋ F11 ( )キーを押し、ディスプレイがオフになっていないか確認してください。 ● 上記すべての操作をしてもだめなときは、「**キーボードやタッチパッドからの入力操作を受け付けない**」(☞ 下記)の操作をしてください。

キーボード・タッチパッドに関するトラブル

こんなときは	ここをお確かめください
キーボードやタッチパッドからの入力操作を受け付けない	● 以下の手順に従って操作してください。 ① Ctrl ＋ Alt ＋ Delete キーを押す。 Delete ScrLk Ctrl Alt ②「タスクマネージャの起動」をクリックする。 ③ タスク欄から動かなくなったソフトウェアを選択し、[タスクの終了]をクリックする。 問題が発生していると、そのソフトウェアの状態欄には「応答なし」と表示されていることがあります。 ● 上記の操作をしてもだめなときは、 ランプや ランプが点灯していないことを確認した上で、電源ボタンを 4 秒以上押し続けて強制的に電源を切ります。 ランプと電源ボタンが消灯したことを確認し、その後 10 秒以上間隔をおいて再度電源を入れてください。 ● 上記の操作をしてもだめなときは、AC アダプターとバッテリーパックを取り外して電源を切り、その後 10 秒以上の間隔をおいて AC アダプターとバッテリーパックを取り付け、電源を入れてください。
タッチパッドが動かない / 正しく動作しない	● USB マウスを接続しているときは、USB マウスを取り外してください。

こんなときは	ここをお確かめください
テンキーで数字が入力できない	● N ランプが点灯していないときは、キー下段に刻印されている機能が働きます。Num Lock キーを押して N ランプを点灯させて、数字キーロックモードオン状態にしてください。 ●「セットアップユーティリティ」(☞63 ページ)の Advanced メニューで「10-Key」が「Disabled」のときは、テンキーは使えません(カーソルコントロールキーとしても動作しません)。また、Num Lock キーを押しても N ランプは点灯しません。

CD・DVD に関するトラブル

こんなときは	ここをお確かめください
ドライブが開かない	● パソコンの電源が入っているか確認してください。 ● 市販の CD/DVD ライティングソフトなど、ドライブを制御するソフトウェアを使用しているときは、ドライブのイジェクトボタンを押してもドライブが開かないことがあります。そのソフトウェアを終了するか、またはソフトウェアから取り出し操作をしてください。 ● 上記の操作をしてもドライブが開かないときは、パソコンの電源を切ってから、トレイにある丸いスイッチを先の細いもの(クリップを伸ばしたようなもの)で押してください。(通常はこの方法で開けないでください。) クリップを伸ばしたようなもので押す

通信に関するトラブル

こんなときは	ここをお確かめください
携帯電話から画像を送っても受信できない	● お使いの携帯電話が IrSS ™に対応しているか確認してください。 ● 携帯電話から IrSS で送信しているか確認してください。 ● JPEG 以外のデータや壊れたデータでないか確認してください。 ● IrSS 受光部と赤外線ポートは近づきすぎても離れすぎてもうまく通信できません。パソコンの IrSS 受光部の正面から上下左右 15 度以内、約 20cm の位置から送信してください。また、データ容量の大きな画像の送信には数秒かかる場合がありますので、送信が完了するまで携帯電話を IrSS 受光部から離さないでください。 ● 近くに赤外線を利用する機器(ノート PC やゲーム機など)がある場合は、その機器の使用をやめて電源を切るか、このパソコンから遠ざけてください。

こんなときは	ここをお確かめください
内蔵 LAN でハブに接続してもうまく使えない	● LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ● ネットワークの設定がネットワーク環境に合っていない可能性があります。下記の操作に従ってネットワークの設定を確かめてください。 ① (スタート)をクリックし、「コンピュータ」をクリックする。 ②「 システムのプロパティ」をクリックする。 ③「タスク」欄の「デバイスマネージャ」をクリックする。 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。 ④ [続行]をクリックする。 「デバイスマネージャ」画面が表示されます。 ⑤「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、「Realtek RTL8101E Family PCI-E Fast Ethernet NIC(NDIS 6.0)」をダブルクリックする。 ⑥「詳細設定」タブをクリックし、「プロパティ」欄の「Speed & Duplex」をクリックする。 ⑦「値」を使用する環境に合った値に変更する。 ⑧ [OK]をクリックして「デバイスマネージャ」画面に戻る。 ⑨ 画面右上の をクリックして開いている画面を閉じる。 ● ハブの設定がネットワーク環境に合っているか確認してください。ハブの設定については、ハブに付属の説明書を参照してください。

その他のトラブル

こんなときは	ここをお確かめください
電源が切れない	●「**キーボードやタッチパッドからの入力操作を受け付けない**」(☞47 ページ)の操作をしてください。
バッテリーが認識されない／充電できない	● 長い間充電をしていない過放電の状態で使用したときに、Windows 上でバッテリーが認識されない場合があります。そのときは、 ランプがオレンジ色に点灯していることを確認してください。AC アダプターを接続した状態で約 30 分経過後にオレンジ色の点灯が続く場合は正常に充電されています。もし、 ランプがオレンジ色で点滅を開始したときは AC アダプターを取り外し、再度 AC アダプターを接続してバッテリーを充電してください。オレンジ色の点滅が続くときは、バッテリーパックの寿命、劣化、故障またはパソコンの故障が考えられます。点検を依頼してください。 ● バッテリーを充電しながらパソコンを使用中、CPU が多くの処理をしているときや周辺機器を使ったために電力消費が大きくなった場合に、 ランプが消えることがありますが、故障ではありません。また、充電中にバッテリーパックの温度が上がり過ぎた場合にも、安全のため充電が一時中止され、 ランプが消えます。バッテリーパックの温度が下がると充電が再開されます。
サイドバーからガジェットが消えてしまった	● ガジェットの右横に表示されるガジェットボタンの をクリックすると、ガジェットはサイドバーから削除されます。もう一度ガジェットを表示するには、ガジェットギャラリーから追加してください。また、パソコンを再起動したときに、それまで表示されていたガジェットが消えてしまった場合は、サイドバーのプロパティでガジェットを削除してから、ガジェットギャラリーから追加してください。詳しくは、**【パソコン電子マニュアル】**(☞31 ページ)の「**トラブル解決**」-「**画面表示**」を参照してください。

Windows のシステムの修復

パソコンの動作が不安定になったり、Windows が正常に起動しなくなった場合は、システムの復元やスタートアップ修復を試してみてください。問題が解決される場合があります。

システムの復元を実行する

システムの復元を実行すると、システムをパソコンが正常に動作していた日時の状態(復元ポイント)に戻すことができます。復元ポイントは、定期的に自動作成され、また、Windows Update やソフトウェアのインストールなどによって、システム設定が変更される直前にも自動的に作成されます。

システムの復元を実行する前の準備

- 大切なデータは、システムの復元を実行する前に書き込み可能な CD や DVD にバックアップしてください。
- 起動しているソフトウェアがあるときは終了してください。

システムの復元を実行できないときは

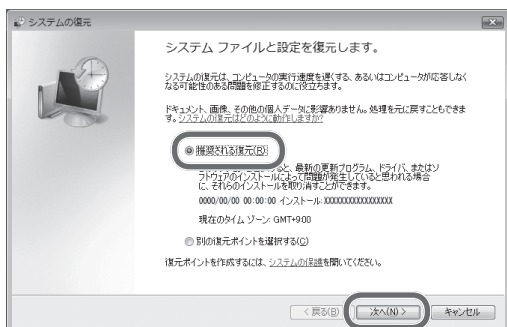
- システム回復オプションを起動して「システムの復元」を実行してください。「**スタートアップ修復を実行する**」(☞ 次ページ)の手順 **6** で「システムの復元」をクリックしてください。

1 (スタート)をクリックし、「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「システムの復元」の順にクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

2 [続行]をクリックする。

「システムの復元」画面が表示されます。

3 「推奨される復元」をクリックし、[次へ]をクリックする。

問題が発生した日が明確なときは

- 次の手順で復元ポイントを指定してください。
  ①「別の復元ポイントを選択する」をクリックし、[次へ]をクリックする。
  ②問題が発生した日より前の日時の復元ポイントをクリックし、[次へ]をクリックする。

4 復元ポイントの日時を確認し、[完了]をクリックする。

確認画面が表示されます。

5 [はい]をクリックする。

システムの復元が開始されます。
復元が完了すると、パソコンが再起動し、「システムの復元は正常に完了しました」と表示されます。

6 [閉じる]をクリックする。

システムの復元を実行すると

- 復元ポイント以降にインストールしたソフトウェアや周辺機器用ドライバー・ユーティリティなどは削除されるため、必要に応じて再インストールしてください。
- システムの設定だけでなく、アプリケーションソフトの設定も元に戻る場合があります。

スタートアップ修復を実行する

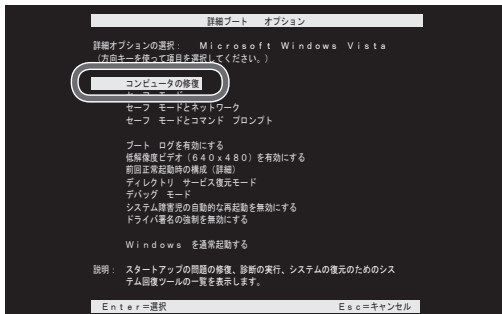
Windows が正常に起動しなくなったときは、システム回復オプションを起動してスタートアップ修復を実行してください。

1 パソコンの電源を入れ、画面中央に表示される「SHARP」の文字が消えたらすぐに、F8 キーを繰り返し押す。

「詳細ブートオプション」画面が表示されるまで繰り返し F8 キーを押してください。

ご参考

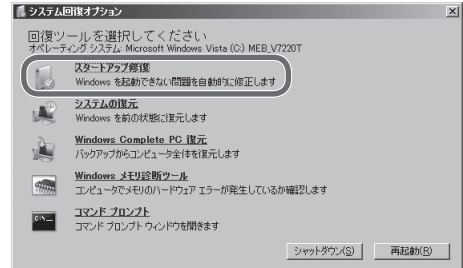
- 「Boot Password」画面が表示されたときは、設定しているスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力して、⏎ キーを押し、その後 F8 キーを繰り返し押してください。

2 「コンピュータの修復」が選択されていることを確認し、⏎ キーを押す。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

3 「日本語」が選択されていることを確認し、[次へ]をクリックする。

4 「ユーザー名」欄から Windows 起動時(ログイン時)のユーザー名を選択し、必要に応じてパスワードを入力する。

5 [OK]をクリックする。

6 「スタートアップ修復」をクリックする。

システムの問題を確認し、問題がある場合は自動的に修復します。
以降は、画面の指示に従って操作してください。

その他の項目について

- システムの復元
  パソコンが正常に動作していた日時の状態(復元ポイント)に戻すことができます。
- Windows Complete PC 復元
  このパソコンでは使用できません。
- Windows メモリー診断ツール
  メモリーに問題がないか調べます。
- コマンドプロンプト
  コマンドプロンプトのウィンドウを表示します。

リカバリ CD/DVD の作成

このパソコンには、リカバリ CD/DVD は付属していません。
ハードディスクが故障したり、ハードディスクに保存されている再インストール用のデータが壊れたりしたときに備えてリカバリ CD/DVD を作成しておくことをお勧めします。作成したリカバリ CD/DVD を使用した再インストール方法については「再インストール(ご購入時の状態に戻す)」(☞54 ページ)を参照してください。

ご参考

- リカバリ CD/DVD を作成した後も、ハードディスクから再インストールできます。

必要なものを準備する

- **リカバリ DVD を作成する場合**

DVD-R 新しい DVD-R(1 層)
3 枚

- **リカバリ CD を作成する場合**

新しい CD-R(650MB または 700MB)
11 枚

リカバリ CD/DVD 作成には、推奨ディスクを使用してください。
推奨ディスクについては、仕様一覧 の「**CD/DVD ドライブ対応ディスク一覧**」を参照してください。

- ペン先が硬くない油性ペンなど

ソフトウェア使用許諾契約書を読む

リカバリ CD/DVD を作成するときには、「Bootable CD Creator」を使用します。リカバリ CD/DVD を作成する前に、下記の「Bootable CD Creator ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。

Bootable CD Creator ソフトウェア使用許諾契約書

本ソフトウェアに含まれるプログラム(Bootable CD Creator)、データおよびマニュアル(以下総称して「本製品」という)は、Enterprise Corporation International(以下「ECI」という)が権利を所有しており、下記の条項が遵守されることを条件に、お客様に対し非譲渡および非独占の、本製品の使用に関する権利を許諾します。本製品は、米国著作権法および国際著作権条約、無体財産権に関するその他の法律により保護されています。お客様には、この旨をご理解していただき、さらに下記の各条項の全てにご同意の上、ご使用していただきます。

使用目的:
本製品は、シャープ(株)が製造するコンピュータに添付され出荷されています。本製品は、本製品が添付されているコンピュータのハードディスクにプリインストールされているリカバリー用イメージファイルを、Bootable CD として作成、保存するためにのみ使用するものとします。本製品は、本製品が添付されたコンピュータでのみ使用することができます。

次の条項を禁止します:
1. 本製品の全部または一部をインストール以外の方法で別の媒体に複製すること。
2. 本製品を 2 台以上のコンピュータにインストールし、本製品を使用可能とすること。
3. 本製品および複製の全部または一部を改変したり、第三者に譲渡、販売頒布(パソコン通信のネットワークを通じて通信により提供することを含む)すること。
4. 本製品に表示されている著作権その外権利者の表示を削除したり変更を加えること。
5. 本製品および複製の全部または一部をリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルすること。
6. 本製品および複製の全部または一部を判読可能な状態にすること。
7. 本製品および複製の全部または一部を本製品以外のプログラムから読み出して利用すること。
8. ネットワークを利用して複数ユーザーが使用すること。

本契約はお客様が本製品のパッケージを開封したときより効力を生じ、お客様が本製品およびその複製物すべてを使用不可能な状態で破棄されることにより終了します。またお客様が本契約の条項のいずれかに違反した場合は、ECI は本製品の使用を終了させることができます。

制限付き保証:
ECI は、本製品が付属する ECI の資料に従ってほぼ動作することを保証します。ECI およびシャープ(株)は他のすべての明示的、暗黙的な、いかなる保証および条件も行わないことを明言します。これには、本製品に関連した商用性の暗黙の保証、特定の目的に対する適合性、タイトル、違反がないことの保証を含みますが、それらに限りません。

責任の制限:
ECI およびシャープ(株)は、本製品の使用または使用不可能な状態、その使用に起因する特別な、偶発的な、あるいは結果的な損害に責任を負いません。これには、業務上の利益の損失、業務の中断、業務情報の喪失、その他の金銭上の損失を含みますが、それらに限りません。これは ECI が当該損失の可能性の通知を受けている場合でもその限りではありません。いかなる保証および条件も行わないことを明言します。これには、本製品に関連した商用性の暗黙の保証、特定の目的に対する適合性、タイトル、違反がないことの保証を含みますが、それらに限りません。

リカバリ CD/DVD 作成前の準備

リカバリ CD/DVD 作成に失敗しないために次の準備をしてください。

- AC アダプターを接続する
- タスクバーの をクリックして、「高パフォーマンス」が選択されていることを確認する
  選択されていないときは、「高パフォーマンス」をクリックしてください。
- 「電源オプション」の「プラン設定の編集」画面で「コンピュータをスリープ状態にする」を「なし」に設定する※
- スクリーンセーバーを「なし」にする※
- 関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する

※ 設定方法については、**【パソコン電子マニュアル】**（☞31 ページ）の「**使い方を知りたい**」－「**パソコンの設定**」の「**省電力**」および「**画面表示**」を参照してください。

リカバリ CD/DVD を作成する

ご注意

- リカバリ CD/DVD は一度しか作成できません。
- 作成したリカバリ CD/DVD は、失わないよう大切に保管しておいてください。

ご参考

- リカバリ CD/DVD の作成を途中で中止しても、最初からやり直してリカバリ CD/DVD を作成できます。

1 新しい CD-R または DVD-R（1 層）を CD/DVD ドライブにセットする。

何か画面が表示されたときは、画面右上の をクリックして画面を閉じてください。

2 （スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「プロダクトリカバリ CD_DVD 作成」を順にクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

3 ［続行］をクリックする。

「Bootable CD Creator」が起動します。

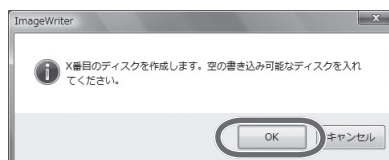
4 ［リカバリディスクの作成］をクリックする。

5 確認画面で［OK］をクリックする。

書き込みが始まります。

ご注意

- ディスクへの書き込み中は、画面に進行状況が表示されます。次の操作案内が表示されるまで、何も操作しないでください。

6 次の画面が表示されたら、新しいディスクと入れ替え、［OK］をクリックする。

書き込みが完了したディスクから、ペン先が硬くない油性ペンなどで「リカバリディスク 1」、「リカバリディスク 2」、……と順にディスク番号を書いてください。

ご参考

- 新しいディスクをセットしたあと、何か画面が表示されたときは、画面右上の をクリックして画面を閉じてください。

7 「ディスクの作成が完了しました」と表示されたら［OK］をクリックし、CD/DVD ドライブからディスクを取り出す。

取り出したディスクに、続きのディスク番号を書いてください。

8 ［終了］をクリックする。

9 確認画面で［はい］をクリックして「Bootable CD Creator」画面を閉じる。

再インストール(ご購入時の状態に戻す)

ここでは、パソコンをご購入時の状態に戻す(再インストールする)方法について説明します。

ご注意

- このパソコンは、ハードディスク内に再インストールに必要なデータが入っています。再インストール用のデータを変更したり、削除したりしないでください。再インストールができなくなります。
- 市販のハードディスクパーティション変更ツールを使って、ハードディスクのパーティション設定を変えたりしないでください。再インストール用のデータが消えて、ハードディスクからの再インストールができなくなります。
- 市販のデータリカバリソフトをインストールしている場合、再インストールする前に、必ず削除(アンインストール)してください。データリカバリソフトの中には、MBR(マスターブートレコード:ハードディスクの先頭にあり、パーティション情報などが書かれています)を書き換えるソフトウェアがあります。そのため、データリカバリソフトがインストールされている状態では、再インストールができなかったり、リカバリ CD/DVD が作成できなかったりします。また、再インストール時に D ドライブのデータが消えたりします。

再インストールする前に、もう一度確認してください

再インストールすると、ハードディスク内の C ドライブの内容は消去されてしまいます。再インストールの種類によっては D ドライブの内容も消去されます。再インストールが必要かどうかよく確認してから始めてください。

「**故障かな?と思ったら**」(☞46 ページ)および【**パソコン電子マニュアル**】(☞31 ページ)の「**トラブル解決**」に問題が起こったときの解決方法が書かれています。あてはまる項目がないか調べてみてください。

それでも問題が解決しないときは、システムの復元やスタートアップ修復を試してみてください。(「**Windows のシステムの修復**」☞50 ページ)

再インストールが途中で中断したときは

- 下記の手順に従って、最初から再インストールをやり直してください
  ① [戻る]をクリックして再インストールの最初の画面まで戻ります。
  ② [キャンセル]をクリックし、確認画面で[OK]をクリックします。
  ③ パソコンが再起動しますので、最初から再インストールをやり直してください。

再インストール後はセキュリティ対策をしてください

- 再インストール完了後のパソコンは、ご購入時の状態に戻っています。コンピュータウイルスや悪意のあるプログラムからパソコンを守るために、(はじめにお読みください)の「**STEP5 セキュリティ対策をする**」を参照して、Windows とセキュリティ対策ソフトを最新の状態にしてください。

パソコンの廃棄・譲渡時はデータを消去してください

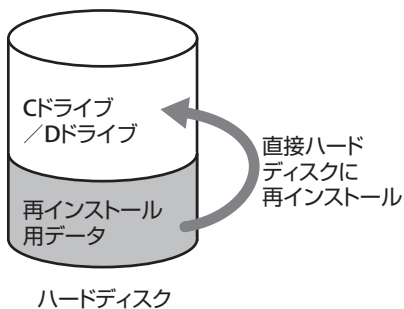
- ハードディスク全体を再インストールしても、市販のデータ回復ソフトを利用すればデータを復元できる場合があります。このパソコンを廃棄や譲渡するときは、重要なデータが流出するといったトラブルを回避するため、「**廃棄・譲渡時のデータ消去**」(☞70 ページ)を参照してハードディスクの全データを消去してください。

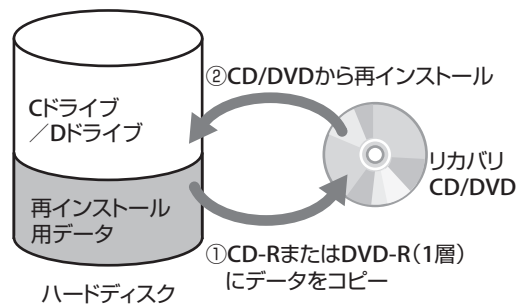
再インストールの種類

再インストールには、ハードディスクドライブから再インストールする方法と、リカバリ CD またはリカバリ DVD（以下総称してリカバリ CD/DVD と表記します）から再インストールする方法とがあります。

ご注意

- 万一再インストール用のデータが壊れたり削除されたりしてしまうと、ハードディスクから再インストールすることができなくなります。万一に備えて、リカバリ CD/DVD を作成しておくことをお勧めします。
  リカバリ CD/DVD を作成する方法は「**リカバリ CD/DVD の作成**」（☞52 ページ）を参照してください。

ハードディスクドライブから再インストールする

あらかじめハードディスクドライブに保存されている再インストール用のデータを使って直接ハードディスクに再インストールする方法です。
この方法ではリカバリ CD/DVD を使って再インストールするよりも短時間で再インストールを完了できます。

リカバリ CD/DVD から再インストールする

ハードディスクに保存されている再インストール用のデータを、いったん CD-R または DVD-R（1 層）にコピーし、CD または DVD からハードディスクに再インストールする方法です。
お客様ご自身で CD-R または DVD-R（1 層）を用意いただき、リカバリ CD/DVD の作成作業をしていただく必要がありますが、万一再インストール用のデータが壊れたり削除されたりした場合でも、リカバリ CD/DVD から再インストールすることができます。

再インストールの準備をする

必要なものを準備する

- はじめにお読みください
- **リカバリ CD/DVD**（リカバリ CD/DVD から再インストールする場合のみ）
  53 ページで作成したリカバリ CD またはリカバリ DVD を準備してください。
  ハードディスクから再インストールするときは、リカバリ CD/DVD は必要ありません。
- **「Microsoft Office Personal 2007」パック**
  「Office Personal 2007」の CD-ROM および スタートガイド を使用します。

大切なデータをバックアップする

再インストールすると、ご購入後にハードディスクに保存されたファイルや、インストールされたアプリケーションソフトなども消えてしまいます。大切なデータは、再インストールする前に必ずバックアップしておいてください。データのバックアップ方法については、**【パソコン電子マニュアル】**（☞31 ページ）の「**使い方を知りたい**」－「**データ／ファイル**」－「**バックアップ／引越し**」を参照してください。

ソフトウェア使用許諾書を読む

再インストールするときには、「Shadowprotect Restore」を使用します。再インストールの前に、次の「SHADOWPROTECT RESTORE 使用許諾書」と「MBRINST 使用許諾書」をよくお読みください。

STORAGECRAFT TECHNOLOGY CORPORATION
SHADOWPROTECT RESTORE 使用許諾書

注意：本ソフトウェアを使用し、出荷時のイメージを復元すると、復元先のハードディスク上のデータは削除され、出荷時のイメージが上書きされます。復元前に、データをバックアップすることをお勧めします。

本ソフトウェアを使用する前に、本使用許諾書記載の各条項および条件をよくお読みください。StorageCraft Technology Corporation（以下、「ライセンサー」）は、本使用許諾書の全ての条項に同意されることを条件に、本ソフトウェアをご利用になる個人、企業または法人（以下、「ライセンシー」）に本ソフトウェアの使用を許諾します。これは、ライセンシーとライセンサー間で交わされる法的強制力のある契約です。本ソフトウェアをロードまたは、使用することにより、本使用許諾書のすべての条項および条件に同意したことになります。各条項および条件に同意しない場合は、本ソフトウェアを使用しないでください。

1. 使用許諾
本ソフトウェアと付随するドキュメント（“本ソフトウェア”と総称します）はライセンサーもしくは第三者が所有しており、著作権法で保護されています。本使用許諾書に同意することにより本ソフトウェアを使用することを許諾します。

許諾された使用：
A. ライセンサーと別途契約を締結し許諾を受けたコンピュータメーカーが作成し、コンピュータに添付した出荷時のハードディスクのイメージを、本ソフトウェアが添付された特定の 1 台のコンピュータ上で、復元する目的でのみ使用することができます。

使用禁止：
A. 付随するドキュメントをコピーすること
B. 本ソフトウェアを再使用許諾、貸与、リース、転売、譲渡すること、またリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブル、変更、翻訳、ソースコード抽出を試みること、派生的製品を開発すること
C. 本使用許諾書で許可された以外の使用

2. 技術サポート
ライセンサーおよびその代理店は技術サポートを提供しません。本ソフトウェアについてのお問い合わせは、本ソフトウェアを添付したコンピュータメーカーにおこなってください。

3. 保証
本ソフトウェアは現状のままで提供されています。ライセンサーは一切の保証をおこないません。

4. 免責
ライセンサーは、本ソフトウェアの使用もしくは使用不可に関わるいかなる直接的損害、間接的損害、特別損害および結果的損害（逸失利益、データ損失を含む）について、一切の責任を負いません。居住地域によっては、偶発的または結果的損害に対する責任の除外または制限が認められず、これらの制限または除外がライセンシーに適用されない場合があります。

5. 一般条項
本契約書に関して疑問点がある場合は、下記にご連絡ください。
StorageCraft Technology Corporation,
180 West Election Road, Suite 230, Draper, Utah 84020, U.S.A.
www.shadowstor.com、FAX:801-382-1824、
もしくは、STORAGECRAFT TECHNOLOGY CORPORATION の日本総代理店である㈱ネットジャパンにご連絡ください。
㈱ネットジャパン
〒 101-0035 東京都千代田区神田紺屋町 8 番地 アセンド神田紺屋町ビル
www.netjapan.co.jp FAX:03-5256-0878

株式会社 ネットジャパン
MBRINST 使用許諾書

本ソフトウェアを使用する前に、本使用許諾書記載の各条項および条件をよくお読みください。株式会社 ネットジャパン (以下、「ライセンサー」) は、本使用許諾書の全ての条項に同意されることを条件に、本ソフトウェアをご利用になる個人、企業または法人 (以下、「ライセンシー」) に本ソフトウェアの使用を許諾します。これは、ライセンシーとライセンサー間で交わされる法的強制力のある契約です。本ソフトウェアをロードまたは、使用することにより、本使用許諾書のすべての条項および条件に同意したことになります。各条項および条件に同意しない場合は、本ソフトウェアを使用しないでください。

1. 使用許諾
本ソフトウェアはライセンサーもしくは第三者が所有しており、著作権法で保護されています。本使用許諾書に同意することにより本ソフトウェアを使用することを許諾します。

許諾された使用：
A. ライセンサーと別途契約を締結し許諾を受けたコンピューターメーカーのコンピュータに添付され出荷されます。本ソフトウェアは、出荷時のハードディスクイメージの復旧機能の一部を構成し、出荷時のハードディスクのイメージを、本ソフトウェアが添付された特定の 1 台のコンピュータ上で、復元する目的でのみ使用することができます。

使用禁止：
A. 本ソフトウェアを再使用許諾、貸与、リース、転売、譲渡すること、またリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブル、変更、翻訳、ソースコード抽出を試みること、派生的製品を開発すること
B. 本使用許諾書で許可された以外の使用

2. 技術サポート
ライセンサーおよびその代理店は技術サポートを提供しません。本ソフトウェアについてのお問い合わせは、本ソフトウェアを添付したコンピューターメーカーにおこなってください。

3. 保証
本ソフトウェアは現状のままで提供されています。ライセンサーは一切の保証をおこないません。

4. 免責
ライセンサーは、本ソフトウェアの使用もしくは使用不可に関わるいかなる直接的損害、間接的損害、特別損害および結果的損害（逸失利益、データ損失を含む）について、一切の責任を負いません。居住地域によっては、偶発的または結果的損害に対する責任の除外または制限が認められず、これらの制限または除外がライセンシーに適用されない場合があります。

5. 一般条項
本契約書に関して疑問点がある場合は、下記にご連絡ください。
㈱ネットジャパン
〒 101-0035 東京都千代田区神田紺屋町 8 番地 アセンド神田紺屋町ビル
www.netjapan.co.jp FAX:03-5256-0878

再インストールの手順を確認する

再インストールは以下の手順でします。

Step1 セットアップユーティリティの設定を変更する

⇩

Step2 再インストールする

⇩

Step3 Windows をセットアップする

⇩

Step4 「Office Personal 2007」を再インストールする

⇩

これでハードディスクの内容は、ご購入時の状態に戻ります。

パソコンの準備をする

1 パソコンの電源を切る。

① (スタート)をクリックする。
② マウスポインターを の上に移動し、「シャットダウン」をクリックする。

2 パソコンに周辺機器が接続されている場合は、周辺機器を取り外す。

① PC カードスロットおよびメモリーカードスロットに挿入されているカード類を取り出す。
② IEEE1394 コネクターおよび USB コネクターに接続している機器を取り外す。
パソコン後面の USB コネクターも確認してください。

ご注意

- メモリーカードや USB 接続のハードディスクドライブなどを接続したまま再インストールを実行すると、メモリーカードなどのデータが消去される場合があります。

3 パソコンにACアダプターを取り付ける。

ご注意

- 必ず AC アダプターは接続しておいてください。バッテリーで操作していると、途中でバッテリー残量がなくなったとき、再インストールが完了できなくなります。

再インストールする

ここでは、ハードディスクドライブに保存されている再インストール用のデータを使って、C ドライブのみをご購入時の状態に復元する方法を中心に説明します。C ドライブのみを再インストールすると、D ドライブ内のデータは削除されませんので、通常はこの方法で再インストールしてください。

ハードディスク全体または C ドライブのサイズを指定して再インストールすることも可能です。
また、ここでは、作成したリカバリ CD/DVD を使用して再インストールする場合についても説明しています。
これらの操作手順については、手順説明内に記載している補足説明をお読みください。

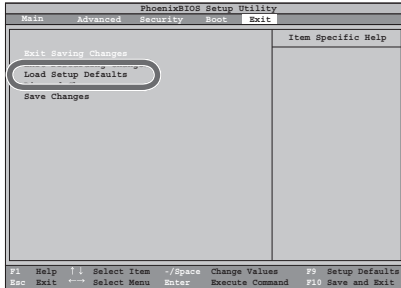
Step1 セットアップユーティリティの設定を変更する

1 パソコンの電源を入れ、画面の左下に「Press F2 for System Utilities」と表示されたらすぐに、F2 キーを押す。

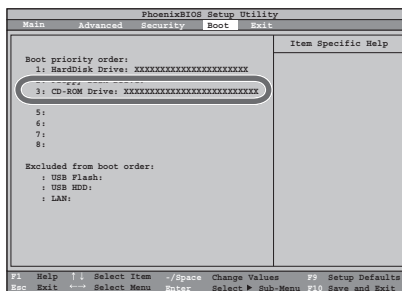
セットアップユーティリティの画面が表示されます。

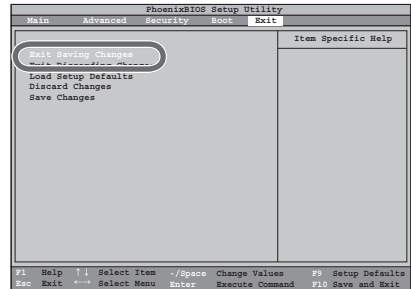
2 設定を初期値に変更する。

① Esc キーを押す。
「Exit」メニュー画面が表示されます。

② ↓ キーで、「Load Setup Defaults」(すべての項目を初期値に戻す)を選択し、⏎ キーを押す。

③「Load default configuration now?」(設定を初期値に変更しますか?)と表示されたら、[Yes]が選択されていることを確認し、⏎ キーを押す。

リカバリ CD/DVD を使用するときは

- 上記手順で設定を初期値に変更したあと、下記手順に従ってリカバリ CD/DVD から起動するための設定をしてください。
  ①「リカバリディスク 1」を CD/DVD ドライブにセットする。
  ② ← キーで、「Boot」メニューを選択する。
  「Boot」メニュー画面が表示されます。
  ③ ↓ キーで「CD-ROM drive」を選択し、スペース キーで「CD-ROM drive」を一番上にする。

  ④ Esc キーを押す。
  「Exit」メニュー画面が表示されます。

3 設定を保存してセットアップユーティリティを終了する。

①「Exit Saving Changes」(変更内容を保存して終了)が選択されていることを確認し、⏎ キーを押す。

②「Save configuration changes and exit now?」(設定を保存して終了しますか?)と表示されたら、[Yes]が選択されていることを確認し、⏎ キーを押す。
パソコンが再起動します。

4 パソコンが再起動し、画面の左上に「Press F4 to Recover」と表示されたらすぐに、F4 キーを押す。

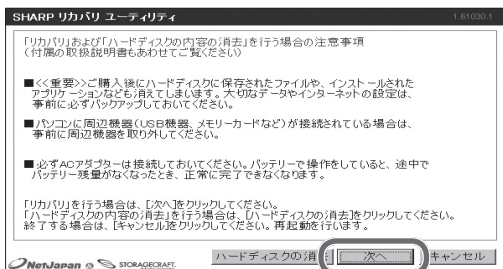
表示されている時間は約 2 秒です。

リカバリ CD/DVD を使用するときは

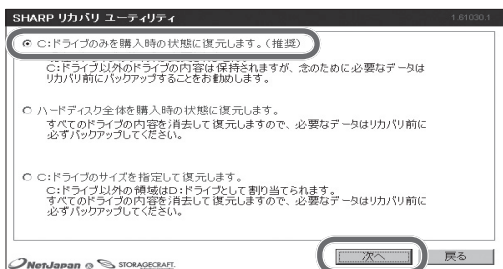
- 手順 **2** でリカバリ CD/DVD から起動するための設定をしたときは、画面左上に「Press F4 to Recover」と表示されません。次の「**Step2 再インストールする**」に進んでください。

5 次の「Step2 再インストールする」に進む。

Step2 再インストールする

1 次の画面が表示されたら、内容をよく読んで[次へ]をクリックする。

[キャンセル]を選択したときは

- [キャンセル]をクリックし、確認画面で[OK]をクリックしたときは、パソコンが再起動します。また、リカバリ CD/DVD をドライブにセットしているときは、確認画面で[OK]を押した後リカバリ CD/DVD を取り出してください。

2 「C：ドライブのみをご購入時の状態に復元します（推奨）」が選択されていることを確認し、[次へ]をクリックする。

ハードディスク全体を復元したいときは

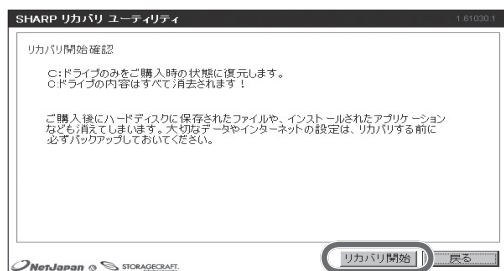
- C ドライブだけでなく、D ドライブもご購入時の状態に戻したいときは、「ハードディスク全体をご購入時の状態に復元します」を選択します。C ドライブと D ドライブの容量はご購入時の状態になります。この項目を選択するときは、次の「ご注意」もあわせてお読みください。

C ドライブのサイズを変更したいときは

- C ドライブと D ドライブの容量を変更し、C ドライブと D ドライブをご購入時の状態に戻したいときは、「C ドライブのサイズを指定して復元します」を選択します。この項目を選択するときは、次の「ご注意」もあわせてお読みください。

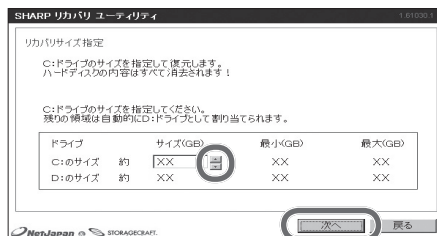
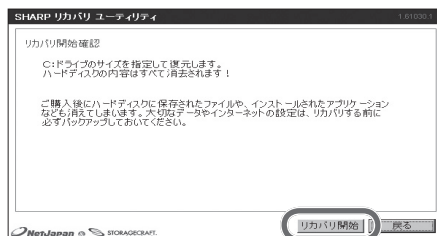
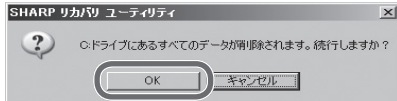
ご注意

- ハードディスク全体または C ドライブのサイズを指定して復元するを選択したときは、C ドライブだけでなく D ドライブにバックアップしているデータもすべて削除されます。大切なデータは、再インストールする前に書き込み可能な CD や DVD、または外付けハードディスクなどにバックアップしてください。
- リカバリ CD/DVD を使用してハードディスク全体または C ドライブのサイズを指定して復元するを選択したときは、ハードディスクに保存されている再インストール用のデータも削除されます。ハードディスクからの再インストールができなくなりますので、ご注意ください。

3 「C：ドライブのみをご購入時の状態に復元します。」と表示されていることを確認し、[リカバリ開始]をクリックする。

確認画面が表示されます。

C ドライブのサイズを変更するときは

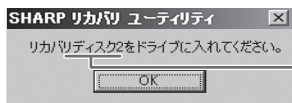
- 「C ドライブのサイズを指定して復元します」を選択したときは下記手順に従って操作をしてください。

  ① [▼] [▲] で C ドライブの容量を設定し、[次へ]をクリックする。

  ② [リカバリ開始]をクリックする。

4 ［OK］をクリックする。

C ドライブのフォーマット（初期化）と内容の復元が始まります。

ご注意

- フォーマット中および復元中は、画面に進行状況が表示されます。次の操作案内が表示されるまで、何も操作しないでください。
  再インストールを途中で中止してしまうと、C ドライブだけでなく D ドライブにバックアップしたデータも削除されてしまいます。その場合は、ハードディスク全体を再インストールしてください。

リカバリ CD/DVD を使用するときは

- 途中、以下のようなディスクを入れ替えるメッセージが表示されますので、リカバリディスクを入れ替え、［OK］をクリックします。

5 ハードディスクのリカバリ処理が終了し、確認画面が表示されたら［OK］をクリックする。

パソコンが再起動します。

6 次の「Step3 Windows をセットアップする」に進む。

Step3 Windows をセットアップする

パソコンが再起動して、しばらくすると「Windows のセットアップ」画面が表示されます。

リカバリ CD/DVD を使用したときは

- 「Windows のセットアップ」画面が表示されたら、リカバリ CD/DVD を CD/DVD ドライブから取り出してください。

1 はじめにお読みください の「STEP3 Windows のセットアップ」を参照してセットアップを完了する。

2 次の「Step4 「Office Personal 2007」を再インストールする」に進む。

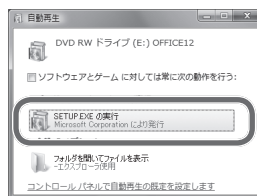
Step4 「Office Personal 2007」を再インストールする

ご参考

- 「Office Personal 2007」をインストールすると、日本語入力システム「IME 2007」も同時にインストールされます。

1 「Office Personal 2007」の CD-ROM を CD/DVD ドライブにセットする。

「自動再生」画面が表示されます。

2 「SETUP.EXE の実行」をクリックする。

「 ユーザーアカウント制御 」画面が表示されます。

3 ［続行］をクリックする。

「Microsoft Office Personal 2007」画面が表示されます。

4 「Office Personal 2007」パックに付属している スタートガイド を参照してインストールする。

インストールの種類を選択する画面では

- 以下の手順に従ってください。
  ① [ユーザー設定]をクリックする。
  ②「Microsoft Office」の左の をクリックし、「マイコンピュータからすべて実行」をクリックする。
  ③ [今すぐインストール]をクリックする。

5 インストールが完了したら、CD/DVDドライブから「Office Personal 2007」のCD-ROMを取り出す。

6 「IME 2007」をアップデートする。

① (スタート)をクリックする。
②「検索の開始」欄に「C:¥」と入力し、「office-update」をクリックする。

「office-update」フォルダ画面が表示されます。
③「office-kb938574-fullfile-...」をダブルクリックする。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。
④ [続行]をクリックする。
「Office (KB938574)の修正プログラム」画面が表示されます。
⑤ 内容をよく読み、同意する場合は、「マイクロソフト ソフトウェアライセンス条項に同意するにはここをクリックしてください」をクリックしてチェックマークを付ける。
⑥ [次へ]をクリックする。
修正プログラムのインストールが開始されます。
⑦ [はい]をクリックする。
パソコンが再起動します。

これで再インストールは完了です。

リカバリCD/DVDを使用して再インストールしたときは、セットアップユーティリティの設定を初期値に戻しておいてください。

ライセンス認証ウィザードについて

- 再インストール後、Officeアプリケーションを起動すると、「Microsoft Office使用許諾契約書」画面が表示されます。使用許諾契約書に同意すると、「Microsoft Office 2007ライセンス認証ウィザード」画面が表示されますので、このウィザードを使ってライセンス認証をしてください。詳しくは、「Office Personal 2007」パックに付属の スタートガイド を参照してください。

セットアップユーティリティの設定を初期値に戻す

- リカバリCD/DVDを使用して再インストールしたときは、下記手順に従って、セットアップユーティリティの設定を初期値に戻しておいてください。
  ① (スタート)をクリックする。
  ② マウスポインターを の上に移動し、「シャットダウン」をクリックする。
  ③ ランプ消灯後、約10秒待ってからパソコンの電源を入れ、画面の左下に「Press F2 for System Utilities」と表示されたらすぐに、F2 キーを押す。
  セットアップユーティリティの画面が表示されます。
  ④ Esc キーを押す。
  「Exit」メニュー画面が表示されます。
  ⑤ ↓ キーで、「Load Setup Defaults」を選択し、⏎ キーを押す。
  ⑥「Load default configuration now?」と表示されたら、[Yes]が選択されていることを確認し、⏎ キーを押す。
  ⑦「Exit Saving Changes」が選択されていることを確認し、⏎ キーを押す。
  ⑧「Save configuration changes and exit now?」と表示されたら、[Yes]が選択されていることを確認し、⏎ キーを押す。
  パソコンが再起動します。

セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティは、パソコンの動作環境に関する設定(各種機能の有効／無効、パスワードの設定など)を変更するためのユーティリティです。

セットアップユーティリティの内容は、ご購入時に適切に設定されています。
必要なとき以外は操作しないでください。
セットアップユーティリティには、次のようなメニューがあります。

- Main メニュー
- Advanced メニュー
- Security メニュー
- Boot メニュー
- Exit メニュー

ご参考

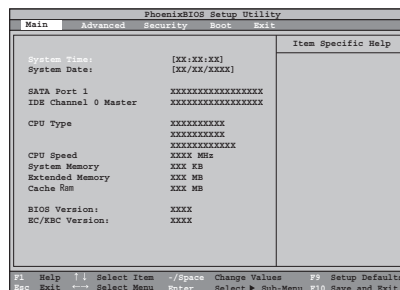
- 誤って変更してしまったときは、「 **すべての設定を初期値に戻す** 」(☞69 ページ)の操作をしてください。
- セットアップユーティリティではタッチパッドおよびマウスを使って操作できません。キーボードで操作してください。

設定内容を変更する

1 パソコンの電源を切る。

① (スタート)をクリックする。
② マウスポインターを ▶ の上に移動し、「シャットダウン」をクリックする。

2 ① ランプ消灯後、約 10 秒待ってから電源を入れ、画面の左下に「Press F2 for System Utilities」と表示されたらすぐに、 F2 キーを押す。

セットアップユーティリティの画面が表示されます。

3 各項目を選択する。

[←][→]　：メニューを選びます。
[↓][↑]　：項目を選びます。
[－][(スペース)]　：設定内容を切り替えます。
[0]～[9]　：日付や時刻を入力します。

4 [Esc]キーまたは[→]キーを押して「Exit」ニューに移動する。

「Exit」メニュー画面が表示されます。

5 「Exit Saving Changes」が選択されていることを確認し、[↵]キーを押す。

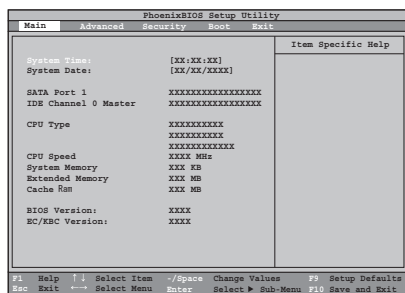
6 「Save configuration changes and exit now?」と表示されたら、[Yes]が選択されていることを確認し、[↵]キーを押す。

変更した内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windows が起動します。

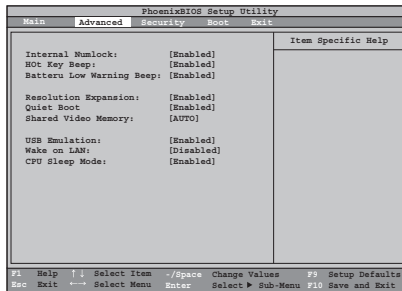
ご参考

- セットアップユーティリティの操作中は、省電力機能は働きません。ディスプレイを閉じないでください。

Main メニュー

日付と時刻の設定と、システムの基本的な情報を表示します。

- **System Time**
  時刻を設定します。(24 時間制で 時：分：秒の順)
  [Tab]キーでカーソルを移動し、[－]キー／[(スペース)]キーまたは、[0]～[9]キーで数値を変更します。
- **System Date**
  日付を設定します。(月／日／年の順)
  [Tab]キーでカーソルを移動し、[－]キー／[(スペース)]キーまたは、[0]～[9]キーで数値を変更します。
- **SATA Port 1**
  ハードディスクのタイプが表示されます。
- **IDE Channel 0 Master**
  CD/DVD ドライブのタイプが表示されます。
- **CPU Type**
  パソコンに搭載されている CPU の名称が表示されます。
- **CPU Speed**
  パソコンに搭載されている CPU の処理速度が表示されます。
- **System Memory**
  システムメモリーの容量が表示されます。
- **Extended Memory**
  エクステンドメモリーの容量が表示されます。
- **Cache Ram**
  キャッシュメモリーの容量が表示されます。
- **BIOS Version**
  搭載されている BIOS のバージョンが表示されます。
- **EC/KBC Version**
  搭載されている EC/KBC のバージョンが表示されます。

Advanced メニュー

パソコンの動作に関する設定項目があります。

- **10-Key**
  テンキーを使用できるようにするかどうかを設定します。
  Enabled　：使用できる
  Disabled　：使用できない

- **Hot Key Beep**
  Fn キーと F1 、F5 、F6 、F7 、F8 、F11 、F12 の各キーを組み合わせて押したときに、Windows 上で音を鳴らすかどうかを設定します。
  Enabled　：鳴らす
  Disabled　：鳴らさない

- **Battery Low Warning Beep**
  バッテリーパックの容量が少なくなったときに、警告音を鳴らすかどうかを設定します。
  Enabled　：鳴らす
  Disabled　：鳴らさない

- **Resolution Expansion**（Windows 環境では無効）
  1280 × 800 より小さい解像度で表示したときに、拡大して表示するか、拡大せずに中央に表示するかを設定します。
  Enabled　：拡大する
  Disabled　：拡大しない

- **Quiet Boot**
  パソコンの電源を入れたときに、「SHARP」のロゴを表示するかどうかを設定します。
  Enabled　：表示する
  Disabled　：表示しない

- **Shared Video Memory**
  メインメモリーのうちビデオメモリーとして使用するサイズ (AUTO/64MB/128MB/256MB) を設定します。
  AUTO　：メモリー容量が 1GB 未満の場合、64MB
  　1GB 以上の場合、128MB に設定されます。

- **USB Emulation**（Windows 環境では無効）
  USB コネクターを使用できるようにするかどうかを設定します。
  Enabled　：使用できる
  Disabled　：使用できない

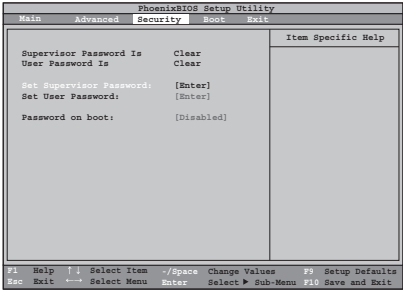
- **Wake on LAN**
  内蔵 LAN インターフェースが起動用パケットを受信したときに、スリープから復帰させるかどうかを設定します。
  Enabled　：復帰させる
  Disabled　：復帰させない

- **CPU Sleep Mode**（PC-FW50X のみ）
  CPU の省電力モードを設定します。通常は、ご購入時のまま「有効にする」でお使いください。
  Enabled　：有効にする
  Disabled　：無効にする

ご参考

- PC-FW70X では、「CPU Sleep Mode」の項目はありません。

Security メニュー

パスワードの登録など、パソコンの安全機能に関する設定項目があります。パスワードを設定しておくと、パソコン起動時にパスワード入力画面が表示され、パスワードを知らない人の使用を防ぐことができます。

● **Supervisor Password Is**

スーパーバイザーパスワードの設定状態が表示されます。

Clear　：設定されていない
Set　：設定されている

● **User Password Is**

ユーザーパスワードの設定状態が表示されます。

Clear　：設定されていない
Set　：設定されている

● **Set Supervisor Password**

スーパーバイザーパスワードを設定します。8 文字までの半角英数字で設定してください。

● **Set User Password**

ユーザーパスワードを設定します。8 文字までの半角英数字で設定してください。

● **Password on boot**

パソコンの起動時に、パスワード入力が必要かを設定します。

Enabled　：パスワード入力が必要
Disabled　：パスワード入力が不要

パスワードの種類

パスワードには、「スーパーバイザーパスワード」と「ユーザーパスワード」があります。ユーザーパスワードは、スーパーバイザーパスワードを設定しているときだけ設定できます。入力するパスワードによって次の制限があります。

スーパーバイザーパスワード	●パスワードを正しく入力しないと、パソコンが起動しません。※ ●パスワードを正しく入力しないと、セットアップユーティリティが起動しません。 ●セットアップユーティリティのすべての項目を設定できます。
ユーザーパスワード	●パスワードを正しく入力しないと、パソコンが起動しません。※ ●パスワードを正しく入力しないと、セットアップユーティリティが起動しません。 ●セットアップユーティリティの以下の項目のみ設定できます。 Main メニュー：System Time、System Date Advanced メニュー：10-Key、Hot-Key Beep Battery Low Warning Beep、Resolution Expansion Security メニュー：Set User Password Exit メニュー：Exit Saving Changes、Exit Discarding Changes Discard Changes、Save Changes

※ Password on Boot が「Enabled」に設定しているときにパスワード入力画面が表示されます。

パスワードを登録する

ここでは、スーパーバイザーパスワードを設定する場合を例に説明します。ユーザーパスワードを設定するときは、「Supervisor」の箇所を「User」に読み替えてください。
スーパーバイザーパスワードを設定しないと、ユーザーパスワードは設定できません。

ご注意

- 必要のないときは、パスワードを設定しないでください。パスワードを忘れると、パソコンを起動できなくなります。
- パソコン本体の修理を依頼されるときは、パスワードを削除しておいてください。

1 「Security」メニューで「Set Supervisor Password」を選択し、[⏎]キーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

2 「Enter New Password」でパスワードを入力し、[⏎]キーを押す。

パスワードは、8文字までの半角英数字で設定してください。

3 確認のため「Confirm New Password」でもう一度同じパスワードを入力し、[⏎]キーを押す。

4 画面の内容を確認し、[⏎]キーを押す。

「Changes have been saved.」と表示されているときは、パスワードが正しく登録されました。
「Passwords do not match. Re-enter password」と表示されているときは、最初に入力したパスワードと確認のため入力したパスワードが一致しなかったため、パスワードは登録されませんでした。手順**2**からやり直してください。

5 [↓]キーで「Password on boot」を選択し、[スペース]キーを押して「Enabled」に設定する。

セットアップユーティリティの起動と変更のみ制限したいときは、「Disabled」に設定します。
「Disabled」に設定した場合は、画面の左下に「Press F2 for System Utilities」と表示されているときに[F2]キーを押したときだけパスワード入力画面が表示されます。

パスワードを変更する／削除する

ここでは、スーパーバイザーパスワードを変更／削除する場合を例に説明します。ユーザーパスワードを変更／削除するときは、「Supervisor」の箇所を「User」に読み替えてください。

ご参考

- スーパーバイザーパスワードを削除すると、ユーザーパスワードも削除されます。

1 「Security」メニューで「Set Supervisor Password」を選択し、[⏎]キーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

2 「Enter Current Password」で現在のパスワードを入力し、[⏎]キーを押す。

3 「Enter New Password」で新しいパスワードを入力し、[⏎]キーを押す。

パスワードを削除するときは、何も入力せずに[⏎]キーを押します。
パスワードは、8文字までの半角英数字で設定してください。

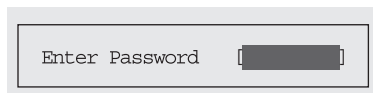
4 確認のため「Confirm New Password」でもう一度同じパスワードを入力し、[⏎]キーを押す。

パスワードを削除するときは、何も入力せずに[⏎]キーを押します。

5 画面の内容を確認し、[Enter] キーを押す。

「Changes have been saved.」と表示されているときは、パスワードが正しく変更または削除されました。
「Passwords do not match. Re-enter password」と表示されているときは、最初に入力したパスワードと確認のため入力したパスワードが一致しなかったため、パスワードは変更されませんでした。手順 **3** からやり直してください。

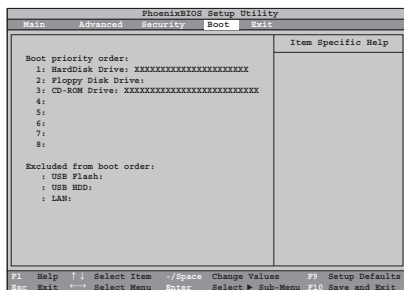
パスワードを登録したパソコンを起動する

パスワードを登録しておくと、パソコン起動時にパスワード入力画面が表示されます。パソコンを起動するには、表示されるパスワード入力画面(下記)にパスワードを入力します。入力しないと、次の操作に進むことができません。

パスワードの入力をまちがえると、「Invalid Password.」と表示されます。[Enter] キーを押してパスワードを再入力してください。パスワードの入力を 3 回まちがえると、パソコンの電源が切れますので、その後 10 秒以上たってから、電源を入れ直してください。

ご参考

- 「Password on Boot」が「Disabled」に設定されているときは、パソコン起動時にパスワード入力画面は表示されません。
  [F2] キーを押してセットアップユーティリティを起動しようとしたときだけパスワード入力画面が表示されます。

Boot メニュー

システムの起動に関する設定項目があります。

- **Boot priority order**
  システム起動時に使用するデバイスの順序を設定します。
  [↓] キー／[↑] キーでデバイスを選択し、[−] キー／[(スペース)] キーで順序を変更します。
  また、[X] キーを押すと、「**Excluded from boot order**」欄にデバイスが移動します。

  Hard Disk Drive：ハードディスクドライブから起動
  Floppy Disk Drive：フロッピーディスクドライブから起動
  CD-ROM Drive：CD/DVD ドライブから起動

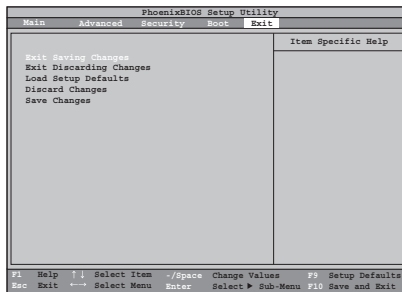
- **Excluded from boot order**
  この欄には、システム起動時に使用されないデバイスが表示されます。ここに表示されているデバイスからシステムを起動したいときは、[↓] キー／[↑] キーでデバイスを選択し、[X] キーを押すと、「**Boot priority order**」欄の最後にデバイスが移動します。

  USB Flash：USB フラッシュメモリーから起動
  USB HDD：USB 接続のハードディスクドライブから起動
  LAN：ネットワーク(LAN)上の起動用サーバーから起動

ご参考

- USB フラッシュメモリーまたは USB 接続のハードディスクドライブからシステムを起動するときは、「Advanced」メニューの「USB Emulation」を「Enabled」に設定してください。

Exit メニュー

セットアップユーティリティの設定を、取り消す、初期値に戻す、設定内容に変更するなどを選んで、終了する画面です。

- **Exit Saving Changes**
  変更内容を保存して、セットアップユーティリティを終了します。
- **Exit Discarding Changes**
  変更内容を保存しないで、セットアップユーティリティを終了します。
- **Load Setup Defaults**
  セットアップユーティリティのすべての項目を初期値に戻します。
- **Discard Changes**
  セットアップユーティリティのすべての項目を前回保存した値に戻します。
- **Save Changes**
  変更内容を保存します。

すべての設定を初期値に戻す

1 **「Exit」メニューで「Load Setup Defaults」を選択し、↵ キーを押す。**

2 **「Load default configuration now?」と表示されたら、[Yes] が選択されていることを確認し、↵ キーを押す。**

3 **「Exit Saving Changes」が選択されていることを確認し、↵ キーを押す。**

4 **「Save configuration changes and exit now?」と表示されたら、[Yes] が選択されていることを確認し、↵ キーを押す。**

設定内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windows が起動します。

廃棄・譲渡時のデータ消去

パソコンを廃棄や譲渡するときは、お客様の重要なデータが流出するトラブルを防ぐために、次の手順に従ってハードディスクの全データを消去してください。

ハードディスクのデータは、データの削除やハードディスクの初期化だけでは市販のデータ回復ソフトで復元される場合があります。パソコンを廃棄や譲渡するときは、重要なデータが復元され流出しないようにハードディスクの全データを消去してください。（「**パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意**」☞12 ページ）

データ消去の方法には、ハードディスクドライブに保存されているデータ消去用のツールを使って消去する方法と、リカバリ CD/DVD を使用して消去する方法とがあります。ここではハードディスクドライブから消去する方法を中心に説明します。リカバリ CD/DVD を使用して消去する場合は、手順説明内に記載している補足説明をお読みください。

ご注意

- 大切なデータは、データの消去をする前に、書き込み可能な CD や DVD、または外付けハードディスクなどにバックアップしてください。
- AC アダプターを接続してください。消去中に電源がなくなると、正常にデータの消去が完了できません。
- この操作を行っても、完全にデータを復元できなくなるわけではありません。
- リカバリ CD/DVD からハードディスクのデータを消去すると、ハードディスクに保存されている再インストール用のデータも消去されますので、ハードディスクからの再インストールやデータ消去はできなくなります。

ご参考

- パソコンを譲渡するときは、データ消去後にパソコンをご購入時の状態に戻して譲渡できます。
- 消去後に再インストールする場合は、「**再インストール（ご購入時の状態に戻す）**」（☞54 ページ）を参照し、ハードディスク全体を再インストールしてください。
- 市販のパーティション変更ツールを使って、ハードディスクのパーティション設定を変更すると、ハードディスクドライブに保存されているデータ消去用のツールを使ってデータの消去ができないことがあります。その場合は、リカバリ CD/DVD を利用してハードディスクのデータを消去してください。

1 パソコンの電源を切る。

① （スタート）をクリックする。

② マウスポインターを ▶ の上に移動し、「シャットダウン」をクリックする。

2 パソコンに周辺機器が接続されている場合は、周辺機器を取り外す。

① PC カードスロットおよびメモリーカードスロットに挿入されているカード類を取り出す。

② IEEE1394 コネクターおよび USB コネクターに接続している機器を取り外す。
パソコン後面の USB コネクターも確認してください。

ご注意

- メモリーカードや USB 接続のハードディスクドライブなどを接続したままデータ消去を実行すると、メモリーカードなどのデータが消去される場合があります。

3 パソコンに AC アダプターを取り付ける。

ご注意

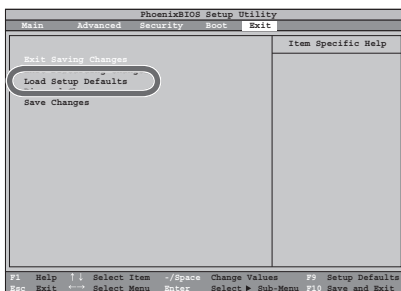
- 必ず AC アダプターは接続しておいてください。バッテリーで操作していると、途中でバッテリー残量がなくなったとき、データ消去が完了できなくなります。

4 パソコンの電源を入れ、画面の左下に「Press F2 for System Utilities」と表示されたらすぐに、F2 キーを押す。

セットアップユーティリティの画面が表示されます。

5 設定を初期値に変更する。

① Esc キーを押す。
「Exit」メニューが表示されます。

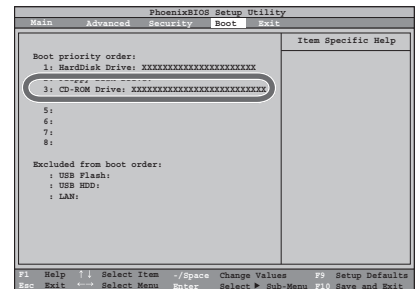
② ↓ キーで、「Load Setup Defaults」（すべての項目を初期値に戻す）を選択し、⏎ キーを押す。

③「Load default configuration now?」（設定を初期値に変更しますか？）と表示されたら、[Yes] が選択されていることを確認し、⏎ キーを押す。

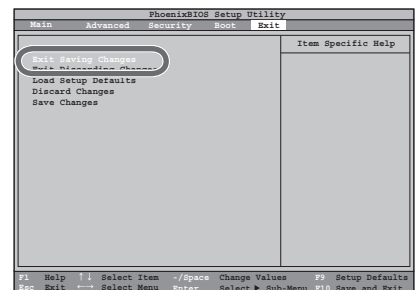
リカバリ CD/DVD を使用するときは

- 設定を初期値に変更したあと、下記手順に従ってリカバリ CD/DVD から起動するための設定をしてください。

①「リカバリディスク 1」を CD/DVD ドライブにセットする。

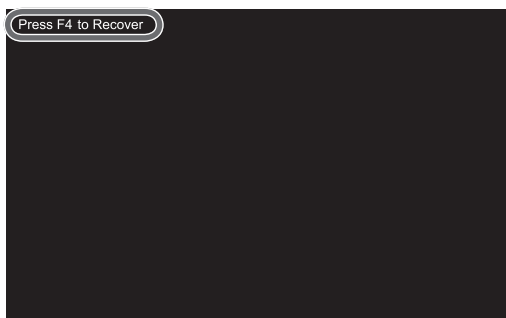
② ← キーで、「Boot」メニューを選択する。
「Boot」メニュー画面が表示されます。

③ ↓ キーで「CD-ROM Drive」を選択し、スペース キーで「CD-ROM Drive」を一番上にする。

④ Esc キーを押す。
「Exit」メニュー画面が表示されます。

6 設定を保存してセットアップユーティリティを終了する。

①「Exit Saving Changes」（変更内容を保存して終了）が選択されていることを確認し、⏎ キーを押す。

②「Save configuration changes and exit now?」（設定を保存して終了しますか？）と表示されたら、[Yes] が選択されていることを確認し、⏎ キーを押す。
パソコンが再起動します。

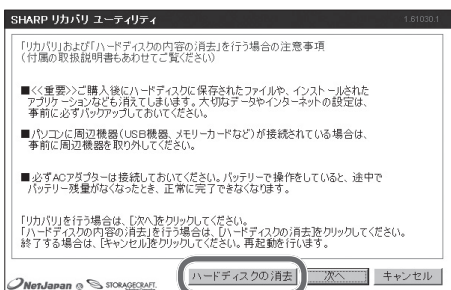
7 パソコンが再起動し、画面の左上に「Press F4 to Recover」と表示されたらすぐに、F4 キーを押す。

表示されている時間は約 2 秒です。

リカバリ CD/DVD を使用するときは

- 手順 **5** でリカバリ CD/DVD から起動するための設定をしたときは、画面左上に「Press F4 to Recover」と表示されません。手順 **8** に進んでください。

「Press F4 to Recover」が表示されない場合

- ハードディスクに保存されている再インストール用のデータが消去されています。リカバリ CD/DVD を使用してハードディスクのデータを消去してください。

8 [ハードディスクの消去]をクリックする。

9 ↓ キーで「次へ」を選択し、⏎ キーを押す。

10 ↓ ↑ キーで消去のレベルを選択し、⏎ キーを押す。

消去のレベルが高いほど処理時間は長くなりますが、より確実に消去され、復元されにくくなります。

11 ↓ キーで「消去します」を選択し、⏎ キーを押す。

12 「erase」と入力し、⏎ キーを押す。

画面には大文字で「ERASE」と表示されます。

13 ↓ キーで「はい(消去を開始します)」を選択し、⏎ キーを押す。

ハードディスクの消去が始まります。

ご注意

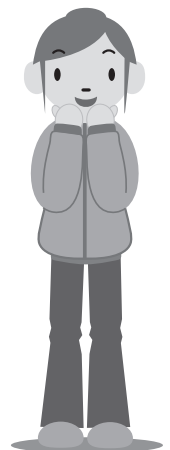
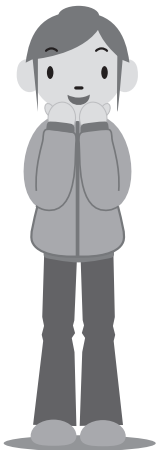
- 消去中は、電源ボタンを押して電源を切らないでください。故障の原因になります。

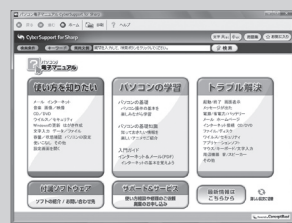
ご参考

- 消去を中断するには Esc キーを押します。
- 消去中、ハードディスクの読み書きができなくなった部分がある場合は、不良セクタとして画面に表示されます。不良セクタ部分は消去されません。
- 不良セクタがある場合、通常の処理時間より時間がかかります。

14 「消去処理は正常に終了しました。」と表示されたら、電源ボタンを 4 秒以上押し続けてパソコンの電源を切る。

リカバリ CD/DVD を使用したときは

- パソコンの電源を切った後、次の手順に従って、リカバリ CD/DVD を CD/DVD ドライブから取り出し、セットアップユーティリティを初期値に戻してください。
  ① ⏻ ランプ消灯後、約 10 秒待ってからパソコンの電源を入れ、画面の左下に「Press F2 for System Utilities」と表示されたらすぐに、F2 キーを押す。
  ②「リカバリディスク 1」を CD/DVD ドライブから取り出す。
  ③ Esc キーを押す。
  「Exit」メニューが表示されます。
  ④ ↓ キーで「Load Setup Defaults」を選択し、⏎ キーを押す。
  ⑤「Load default configuration now?」と表示されたら、[Yes]が選択されていることを確認し、⏎ キーを押す。
  ⑥ ↓ キーで「Save Changes」を選択し、⏎ キーを押す。
  ⑦「Save configuration changes now?」と表示されたら、[Yes]が選択されていることを確認し、⏎ キーを押す。
  ⑧電源ボタンを押して、パソコンの電源を切る。

もっと使いこなす

ここでは、パソコンを使ってできることの代表的な使い方を紹介しています。
やりたいことが記載されていないか確かめてみてください。

ここで紹介している使い方以外にも、【パソコン電子マニュアル】には多数の操作案内があります。
やりたいことが出てきたら、【パソコン電子マニュアル】に案内がないか確かめてみてください。

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

パーソナルコンピュータ

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

省エネ 低消費電力など、環境に配慮

● 省エネ法で2007年度までに達成しなければならない目標基準値を100%以上達成しています。

※「省エネルギー基準達成率」について…省エネルギー基準達成率が100%以上の場合については、100%以上200%未満=A、200%以上500%未満=AA、500%以上=AAAで表示しています。

グリーン材料 環境に配慮した材料を採用

● 主要基板上の部品接続用として無鉛はんだを使用しています。

●「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法(JIS C 0950)」(通称J-Moss)に定められる特定化学物質※の含有率がJ-Moss基準値以下となっています。

● 電気・電子機器に含まれる特定化学物質※の使用を制限する欧州の規定である「RoHS指令」に対応しています。

※ 鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB(ポリ臭化ビフェニール)・PBDE(ポリ臭化ジフェニルエーテル)。
なお、一部の電子部品に含まれる鉛、及びバックライトに含まれる水銀はJ-Moss/RoHS指令の除外項目に該当します。

「よくあるご質問」などはホームページをご活用ください。

メビウスサポートページ
http://support.sharp.co.jp/mebius/

使用方法のご相談など

■ご購入後1年以内のお客様はこちら

【お客様サポートセンター】

0120 - 572 - 539

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

●お問い合わせ前にユーザー登録の必要があります。

■ご購入後1年経過のお客様はこちら

【お客様サポートセンター有料窓口】

0120 - 587 - 365

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受付時間 ●月曜～金曜:9:00~21:00 ●土曜・日曜・祝日:9:00~18:00
(年末年始は、受付時間が異なる場合があります)

修理のご相談など

【お客様サポートセンター修理相談窓口】

0570 - 01 - 4649

全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
携帯電話からもご利用いただけます。

■IP電話・PHSなどナビダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

	東日本地区	西日本地区
一般電話	043 - 351 - 1831	06 - 6792 - 5613
FAX受信専用電話	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

受付時間 ●月曜～土曜:9:00~20:00 ●日曜・祝日:9:00~18:00(年末年始を除く)

●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2008.1)

シャープ株式会社

本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in China

08B IM (TINSJ4145ACZZ) ①